京城日報

八日夕刊

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

第卅九回特別帝國議會

衆議院（七日）

▲法律案議事（八日朝刊より續く）

衆議院は七日午後一時再開

朝鮮事業公債法中改正法律案　委員長白石直治氏の報告通り可決確定

朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案　委員長齋藤安雄氏の報告通り原案可決確定

東京帝國大學京都帝國大學臨時支出に關する法律案

京都帝國大學臨時政府支出金に關する法律案

學校圖書館特別會計資金の一部を一般會計に繰入るゝ件に關する法律案

を一括して委員長米田穰氏の報告通り可決確定

農業倉庫法案

委員長鵜澤總明氏の報告通り可決確定

戰時海上再保險法案

委員長熊谷直太氏の報告通り可決確定

是より日程を變更し臨時國庫證券法案臨時國庫證券收入金特別會計法案に就て委員長江藤哲藏氏の報告あり可決確定

▲豫算通過

夫れより愈々追加豫算の議事に入り追加豫算案九案を一括して議題に供し豫算委員長山本悌次郎氏登壇報告し國民黨憲政會より修正案出でたるも少數にて否決され獨り原案採決に際し政府に對し希望ありたき旨述べて降壇するや加藤政之助氏（憲政）憲政會修正案の理由を述べ減債基金の削減電話擴張延期拓殖局新設反對敎育會議設置費反對の意見を述べ鈴木四郎氏（國民）より新國防計畫樹立の意見を述べ國民黨の二千四百萬圓削減の修正案の說明を試むるや政友會の三土忠造氏は原案維持說を主張し早速整爾氏（憲政）更に之れを駁し茲に討論終結を告ぐ、先づ憲政國民黨の修正案に共通なる國債整理基金繰入增加二千萬圓の削除拓殖局新設費削除に就て記名投票の結果

總投票數　三百四十二

修正案贊成　百五十三

修正案反對　百九十九

にて兩修正案否決、次いで國民黨修正案憲政會修正案亦各々少數にて敗れ、最後に豫算案全部に就き原案を採決し大多數にて可決し四時四十分散會したり

動亂の支那

▲飛行機の宮城偵察

南苑飛行隊段軍に內應か

六日午前八時飛行機一臺北京宮城を偵察せり多分南苑の飛行隊が段軍に內應せる爲なりと傳へられ人心恟々たり（北京特電）

▲梁氏の列國干涉哀願

六日朝外務尚書梁敦彥氏は日、英、米三國公使を歷訪し列國の干涉を哀願せるも目下之に應ずるものなし（北京特電）

▲黎氏夫人は佛公使館へ

五日午後六時黎元洪氏の夫人並に妾小供の三人は佛國公使館に避難せり（北京特電）

▲張勳氏家族の避難

獨逸租界に邸宅を構へ居れる張勳氏の家族は五日朝英國租界に避難せり（天津特電）

○露領樺太を米國に

露國は今回露領樺太を米國に讓渡する事となりしが其の理由とする所は鑛山局長マリアブキン氏は之に依りて同島に於ける日本の勢力に對抗せしむる爲めなりと云へり此の說には贊成者尠からず（露都電報）

○露軍攻勢開始結果

露軍は二十哩に亙る戰線にて活潑に攻勢を執り七月一日、二日の戰鬪にて將校三百名兵卒一萬八千名を捕虜とし大砲二十九門機關砲三十三門を鹵獲せり（露都電報）

○外交調査會廢止決議

憲政會にては七日午前九時より院內控室に議員總會を開き左の決議案を衆議院に提出し十三日の本會議に上程の筈なり（東京特電）

決議案

臨時外交調査委員會は憲法に違反し閣臣の責任を紊るものなり政府は速かに之を廢止す可し

右決議す

○正貨益々激增

七月五日現在正貨總額八億九千八百萬圓にて前月に比し千五百萬圓を增加せり（東京特電）

○北京在留邦人

六月末北京在留邦人は千百六十八名にて男六百九名女五百五十九名なり（北京特電）

○滿鐵社債賣切

滿鐵社債五十萬圓は五日賣出したるが當日中に全部賣切れたり（大阪特電）

○北京政變調査

北京の政變調査の爲め東京駐剳支那公使館員斫仰先氏は八日朝釜山上陸北京に急行せり（釜山特電）

◉隈部大佐歸鮮

京畿道警務部長隈部親信氏は七日午後九時二十分入港關釜連絡船高麗丸にて釜山上陸直に東萊温泉に赴き八日午前十時三十分發列車にて歸任すべし（釜山特電）

◉朝鮮の棉作と牧羊事業

本多幸介氏談

本府勸業模範場長本多農學博士は今回農商務省に新設せられたる臨時產業調査會の諮問に應ずべく過般東上したるが六日歸鮮したり同博士は往訪の記者に語つて曰く

▲東上の目的　今回東上の用件は農商務省に於て新設せられたる臨時產業調査會諮問に應ずべく同省の命に依りて上京したる次第にて同調査會設置の主旨は從來外國より輸入せる物資を能ふ可くば日本內地及び殖民地に於て產出せしむる方法を講究せんと之れが調査を爲すべく即ち朝鮮に於ては主として棉花及び牧羊の增殖を企圖せんと研究調査を爲すに在りて之れが諮問に對し所見を開陳し置きたり

▲內地の棉作地　元來棉花は印度及び米國より輸入する總額約三億萬圓の巨額に達し之れが補付反別に割當つれば約二百四十萬町步を要すべきに現時我內地に棉作地積は僅かに二千七百町步に過ぎず朝鮮に於ては產業獎勵の結果として十萬町步に達し居れりと雖も產出數量は之れ又七八千萬斤にして輸入總額の約百分の五に滿たず

▲棉作擴張奈何　今假りに朝鮮全面積を棉花耕作地と爲すも二百萬町步に過ぎざれば棉花の栽培は奈何に擴大ならしむるも決して生產過剩を來たすが如き虞れなきのみならず品質は外國輸入品と比較して更らに劣る所なく殊に勞銀の安價なる爲め採棉の時季に選らみを爲し外國棉花の如く雜品の混交なき爲め製綿に際し手數を省くことの利便と其製產額の多きとは遙かに輸入賣綿に優れるより市場に於て大に歡迎せられ居れり

▲羊毛消費額　次ぎに羊毛の我邦に於ける織物及び毛布等に消費する需用額は年々增加の傾向なるに現在は殆んど濠洲及び蒙古其他より輸入し其額一個年約四千萬圓に達し之れが數量を得る羊の頭數を算すれば少くも五六百萬頭を要するに拘はらず我邦に於ては北海道に於て僅かに三千頭と水原模範場に飼養せる六百頭に過ぎず之れ等は將來大に增殖を謀らざるべからず羊の飼養地は敢て耕作に要する

▲牧羊の適地　平地に於て爲すに及ばず山腹若くは耕作に不適當なる島嶼に於て充分なり殊に朝鮮は氣候風土の最も牧羊に適せるを以て將來は大に羊の飼養に努められんことを望む現時模範場に於て飼養する羊の種類は蒙古種なるも實驗の結果に依れば濠洲種と蒙古種の混血種は羊毛の品種及び出產數量に於て大に有利なるを知れり殊に混血種は頗ぶる健康にして飼養上にも容易なるが如し云々

湖南より

五道踏破旅行記者　李光洙

◇昨夕全州官民有志四五十人は、小生の爲め歡迎の宴を開かれ申候。李長官、金參與官、金郡守も御臨席下され、小生に取りては實に過分の光榮にて候。熱き時節に五道を步き廻るは、嘸御苦勞なるべし等慰めらるゝ御方もあり、成るべく朝鮮の現狀を詳察して、世に紹介せよ等と勵まさるゝ御方も有之候。此は實に過重なる負擔なり、如何にして斯くも切なる諸氏の期待に副ふべき、只唯あらん限りの力を盡す決心あるのみにて候。

◇座には官吏あり、實業家あり、銀行員會社員あり、新聞記者あり、老人あり青年あり、社會のあらゆる階級を無視して、一家族の如く酬酢する所實に美觀と申すべきにて候。松浚全北日々社長の申せるが如く、全州の特色は官民の融合にあるが如く察せられ候。李長官の平民的なるは、今更申すにも及ばねども、其の他の官吏方も何れも、人民と意志の疏通せんことに盡力せらるゝ由にて誠に喜ばしきことゝ存候。全州人は慾張なり、吝なり、狡猾なり等非難する向も有之候へ共小生の接したる限りに於いては、さりとも覺わず、一道の首府の人民として恥しからずと存候。

◇新たに起すべき事業多きに拘はらず、朝鮮人は未だ斯かる事業に出資するを好まず、殊に全州人に於いて然り等、慨慨する者ある由に候へ共、さう一朝一夕に頭が開ける者にては無之と存候。日本人は知識を出し、朝鮮人は資本を出せば、隨分と有益なる事業をなし得べきに等惜む者も有る樣なれども、人の頭をのみ信用して、自分の財產を出す者もなかるべし。其の事業の意義も利害も理解せざる者、爭でか其の事業の爲に出資するを背んじ候べき、新知識の普及するに從つて、朝鮮人間にも事業熱起るべきは明かにて候。されば今日に於いては、朝鮮人に事業熱なきを責むべきにあらずして、彼等の刺激となるべき日本の資本家が、朝鮮に於いて事業を起すもの少きを責むべきには候はずや。李長官の言はれし如く、朝鮮の商工業は、日本人の財產家の奮起によりてのみ、勃興すべき運命を有すと存候。

◇本社全州通信員井手老人も、釜山日報全州支社長倉田老人も出席致され候。御兩人とも揃ひの朝鮮通全州通にて、朝鮮の食物迄も何んで御坐れと云ふ程にて候。年老いて活動思はしからず、新聞記者と云ふよりは貧聞記者なり等諧謔百出致候。時々本社より御目玉を頂戴すと言はるゝは本當にや嘘にや、中々敏腕家の評高き由にて候。

◇十數人の全州美人の斡旋の中に、主客歡を盡し候。酒に弱き小生は、ぐでん〳〵にて定めし皆々樣に失禮の廉も多かりしならん、末筆ながら一寸御詫申上候。

◇連日の雨にて、水害も多少はありし由、小生は愈々徒步旅行の本色を現はして、てく〳〵と裡里へ向ふ考へにて候。三韓時代には何國何國九十國百國と申したれば此の邊の地は大抵或國の國都たりしならん、二三人協力して、やつと使ひしと云ふ長槍の馬韓人が、彼方此方と彷徨き廻りし樣など想像しつゝ全北の平野を步き廻るも一興なるべくと存候。匆々不一（七月五日午前八時全州にて）

◉秋山大將出發

軍司令官秋山好古大將は九日午前九時三十五分龍山發京元線の列車にて北鮮部隊第二期檢閲狀況並に地理實査のため先づ元山に向ふ隨員は松井參謀野津副官其他の幕僚なり

◉露國前海相通過

露國前海軍大臣セルキエフ氏一行十一名は八日朝南大門驛通過內地に向へり

◉隈部大佐歸任

東上中なりし隈部京畿道警務部長は八日午後九時南大門驛著列車にて歸任す可し

◉日露連絡と露貨

換算率變更に付交涉中

所謂日滿連絡と稱する鐵道院鮮鐵滿鐵と東淸鐵道の旅客貨物連絡輸送には日貨對露貨の換算率を相場により之れを決定し時々變動あれば其の變動に從つて換算率を改定しつゝあるが日滿露旅客連絡たる上記の日滿連絡に加ふるに露西亞國有鐵道及びウスリー鐵道を含む連絡輸送の日貨露貨の換算率は連絡協定成立時の相場を以て之れをなす事とせられ露貨相場の變動により改定する事となり居らざるため內鮮滿より露國に旅行せんとするに際し連絡切符を購入することは露貨暴落の今日非常の損失あり旁々露本國行き旅客は先づ東淸線滿洲里まで日滿連絡切符を求め滿洲里にて更に露貨を以て行先きまでの乘車券を購入するの外なく旁々不便と不利あるを以て內鮮滿鐵道當局は日滿露連絡輸送の場合も露貨を相場にて換算するやう改むべく露國交通部に向け交涉中なり

◉大豆粒選良好

京畿道管內に於ける大正五年中大豆粒選實施成績を聞くに粒選したる種子數量一萬三千四百七十六石此れが植付反別二萬四千二百八十九町七段步にして此の收穫高十八萬七千三百九十石なり即ち同上一段步當收穫高七斗七升一合を算し一般農民は當初其の作業の繁を厭ひ實施難上多少の困難ありしにも拘はらず其の成績收量及び品質共大いに優良なるを實驗するに至り今日に於ては農民自ら進んで之を實行するに至れる有樣なりと

◉中鮮成繭資金

漢湖農工銀行が本年成繭資金として融通せし金額は江原道を主とし忠淸北道京畿道を合し十五萬圓に及びたるが之等は繭の出市前生產者の組合に一箇月乃至三箇月の短期にて融通し道廳郡廳等が共同蠶繭販賣の斡旋を行ひたる時貸出金を回收するの仕組にて地方生產者を利する事多き模樣なり

◉平安丸處女航

七月二十日神戶川崎造船所より朝鮮郵船會社が引渡しを受くべき新造船平安丸（一千五百噸）は處女航として神戶にて貨客を滿載し北鮮、釜山、元山を經て浦鹽に向ふ事に決定したり尙ほ釜山

○露國鑛山委員勸告

商務省の鑛山委員會は露國鑛山其他の工場の大部分を一般露人の手に委する事を政府に勸告するに決せり（露都電報）

○米人經營鑛山讓渡

米國資本家は露國內の石油及びアルタイ山中の金カウカサスの銅及びウラル山脈鐵道を露人に讓渡す可し（露都電報）

○露領麥酒販賣許可

極東露領にて四パーセント以下の酒精含有のビール釀造販賣許可さる（大阪特電）

◉鳥致院の水害程度

去る三日夜の鳥致院水害の狀況は其の當時逸早くも報道する所ありしが今回當局に於て調査せし正確なる其の程度を示せば左の如し（鳥致院憲兵分遣所調査）

▲家屋の損害　△半潰一△破損一△床上浸水九△床下浸水四九△此の見積額三百二十五圓也

▲水田の損害　△埋沒及び流失一町四反步△浸水九町五反步△此の見積額三百十圓也

▲畑の損害　△埋沒及び流失一町八反步△浸水八町五反步△此の見積額一百六十圓也

▲宅地の損害　△埋沒及び紛失なし△浸水三町五反步△此の見積額六十圓也

▲道路の損害　△破損一箇所（二間）△埋沒及び流失一箇所（二間）

右表の如く其の損害見積價額總計に於ても尙ほ八百五十五圓也、是れを以ても其の出水の狀況は十二分に想像するを得べく從來水害の鳥致院てふ稱呼も漸次消滅し去るの期も遠からざるべし（鳥致院）

◉鮭延書記官通過

英國大使館二等書記官鮭延信道氏は七日朝鮮滿急行列車にて來釜同六時四十分出港連絡船對馬丸にて東上の途に就けり（釜山）

地方

大田

▲長官部長來去　南第一部長澁谷元良氏は水害地視察の爲め六日午後八時鳥致院を經て田本町中川旅館へ投宿し上[illegible]長官は七日午後三時四十五分著列車にて來田同じく中川旅館に少憩の後水害地の視察を爲し午後七時發列車にて江景へ向つて出發[illegible]

▲白米又々値上　大田白米[illegible]に於ては七日附原料拂底なりとの由の下に各等一升に付き五厘宛の上をなしたるが一等二十三錢五厘、二等二十二錢五厘となれり

▲大田[illegible]著發貨物　去六月中大田驛に發著したる貨物の狀況を聞くに到著は一[illegible]一百四十噸にして內主なるものは千二十四噸陸軍工事材料、局用品千八百十六噸、木材二百六噸、鹽七十八噸、栗七十九噸、軍需品千百九十噸、發送は總數一千百[illegible]噸にして其の主なるものは[illegible]二噸、栗九十五噸、[illegible]二噸、軍需品百二十一噸、木材六十二噸、石炭十二噸等にして其の仕向[illegible]は沃川、永同、馬山、釜山、[illegible]なりと

大邱

▲聯隊將校招待　大邱旅團設置期成會は大邱[illegible]に就き祝意を表する爲め來る十日[illegible]內芳千閣に步兵第八十聯隊將校[illegible]同相當官に步兵第四十旅團將校[illegible]て約八十名を請待し大邱官民聯合[illegible]て祝賀會を催すべしと

▲旅團期成會協議　大邱旅團設置期成會[illegible]事務終了期の近きたる爲め六日午[illegible]十時より大邱商業會議所內にて[illegible]會を開き同會解散並に善後策未[illegible]附金の整理聯隊將校招待宴等に[illegible]協議するところありたり

▲警務部[illegible]官交迭　慶尙北道警務部副官[illegible]佐氏は今回大尉に昇進し同時[illegible]憲兵分隊長を命ぜられたる[illegible]任としては倭館憲兵分隊長たりし[illegible]原茂夫氏著任の筈

▲慶北隊署長會議　慶北警務部に於ては來る九日より三日の五日間に亘り管內憲兵隊[illegible]警察署長及び憲兵分遣所長會[illegible]開催すべし

▲大邱倫武館擧式　去十九日上町在鄕軍人分會集會所の新築道場に移轉したる大邱倫武[illegible]來十四日を以て開館式を擧行す[illegible]く目下それ〳〵準備中なり

▲浦項憲兵隊長交迭　慶北浦項憲兵分隊長[illegible]信夫氏は今回全北井邑分隊長を[illegible]られ之が後任としては咸北茂山[illegible]兵分隊長たりし谷頭和夫氏著任[illegible]

人事消息

▲吉田憲兵中尉（京畿道警務部副官）七日午[illegible]水原へ

▲齋藤喜作氏（營林廠長）七日午後退京[illegible]

▲宮保治之丞氏（全州慈惠醫院醫官）七日[illegible]入京滿光館へ

▲三下磯吉氏（憲兵大尉）同上

▲前原熊太郎氏（稷山金鑛支配人）八日朝入[illegible]朝鮮ホテルへ

▲鳥取縣視察團一行十名　八日朝退京

□島の巡査生活（一）

暢氣なことも暢氣だが又苦しい話

◇◇朝鮮船に身を託して 一丈五尺の櫓が撓る◇◇

『陸地を遠く距つた島々の巡査生活は浮世離れがして居るだけに、暢氣な事は暢氣だが、又時には局外者の想像も及ばぬ程、苦しいこともあるよ』──曾て全南に在勤して駐在巡査の生活をよく洞察して居るY警部は、斯う語りながら藹く陽に焦けた顔をツルリと撫でた

◆全南は名にし負ふ **多島海を控** へてゐるところ◆

俗に八百八島といふけれど、實際はそれよりモツと多く、木浦警察の管内だけでも、算盤の三桁位弾くに充分である、紺碧の海上に浮かぶ大島小嶼、中には信天翁の糞に真白くなつた厳島も少くないが大部分は人が住んでゐる、珍島は云はずもがな、陸岸に近いとこでは智島、箕佐、都草、荷衣、遠く離れて黒山島なぞは先づ著名な島と云ふべく、從つて之等の島々には何れも駐在所が設けてある、Y警部の話は多く上述の島々を中心としたものである、Y警部は語を繼いだ──『珍島と智島は別として其の外は、箕佐島でも都草島でも荷衣島でも殆んど朝鮮人ばかり黒山島は最近日韓捕鯨會社の根據地となつた爲め、多少内地人もゐるが、これとて漁季を過ぎれば知れたものである、以前は

◆三日に一度ぐらゐ 島々の間を通航◆ **朝郵汽船が** 陸岸との連絡を割合にしてゐたので、便利であつたが、收支相償はずで廢航になつて以來、脆弱な朝鮮船に依る外はなく、陸岸は世の進運に伴ふて交通も發達すると云ふのに、この島々だけは、却つて反對の方向に逆轉するといふ珍現象を呈してゐるそれで赴任の際には、折好く警備船でも出動すれば無論それに便乘する事も出來るが、そんな塲合は滅多になく大抵はドンと一突きで壞はれさうな朝鮮船に身を托する、島の生活は暢氣でも、この航海だけは大抵の人がウンザリする程で油を搾らる、『御機嫌好う』と笑顏で送る同僚を後に、木浦埠頭を船出して

◆一丈五尺の櫓が撓る **可成の難所** 花源半島と押海島◆

とが産み出した港口海峡をエンヤラヤツトで通り越すと、徐々船がゴブり出す、海になれぬものはこれで忽ち酔つて了ひ、幾ら暢氣でも氣楽でも、モウ島詰めは眞平々々とツイ弱い音も吐くとやら、斯くて近い處でまる一日、遠い處は二日も三日も懸つて辛つとの事で目的地に著くのだが、是は海上の平穏な所謂凪の日の話し、若し意地悪く時化でもしやうものなら、それこそ本當に命賭け、目も當てられたものぢやない……赴任の困難、これは島生活を始める巡査の第一に味はねばならぬ苦い經驗である』

◉近年稀しい濃霧 汽船航行に悩む

大阪商船天賀丸は大阪を發し釜山に寄港し二十六日午前八時同港を發し木浦に向け航行の途中濃霧に遮られ徐航停船避難に數日を費し本月五日午後二時漸く木浦に入港し同日午後四時木浦を發し六日午前三時無事群山に入港したるが今回の如き濃霧は近來稀れに見る處にて船體は宛然綿に包まれて航行するが如くなりしと又大阪商船信濃丸も去月二十七日大阪を發し三十日釜山著同日釜山を發し木浦に向ふ途上等しく濃霧に會し六日午後二時漸く木浦に入港したるが同日午後四時木浦を發し群山に向け航行の途中にありと次に尼崎汽船大有丸は去月二十五日大阪を發し一日午前釜山入港同日午前釜山を發したる儘濃霧の爲消息不明となり居りしが四日午後尼崎群山出張店に宛て大有丸船長より釜山出港後濃霧の爲め航行不能となり統營附近に避難中の旨入電ありしと（群山）

◉白骨事件移院

釜山の白骨事件犯人長阪七太郎に對する強盗殺人事件は曩きに大邱覆審法院の死刑の判決言渡しを不服として被告は高等法院に上告したるが五日原判決を破毀し本件を京城覆審法院に移す旨判決言渡あり京城覆審法院に移送されたり

◉女に追られて 鎭海情死後報

七日午前一時頃鎭海飛鳳里の海岸に於て情死を企てたる男女あり男は馬山部町一丁目青物市場店員寺井虎丸（二五）女は鎭海貸座敷萬歳樓抱へ娼妓花子事宮崎つき（二三）なるが共に抱合て投身したるが女は溺死し男は同海岸に漂著したるより陸上に這ひ上り呻き居たるを午前七時萬歳樓の追手に發見せられ應急手當を加へたる爲め生命を取留めたるが原因は相互に不義理の負債高み花子より情死を迫りたるもの〻如しと（馬山）

◉病苦から縊死

商陽郡崇仁面貞陵里無職張□文（五四）は豫て與耳咽喉病に罹され娘總先なる京城西四軒町張姓女方に滞在し總督府醫院に通院して加療中なりしが一向に快癒の見込みなきを悲觀し去月二日頃無斷家出し東四軒町東方の山中城壁内側の松の木に木綿細にて縊死を遂げ居るを六日午後發見し本町署より係官警察醫出張檢視せしに病苦の爲め自殺する旨認めたる二通の遺書あり屍體は張姓女へ引渡さる

◇田植……編笠の娘草刈る堤かな

◉東京女子高等師範 生徒滿鮮旅行隊

東京女子高等師範生徒中の有志に依つて組織された滿鮮旅行、富士登山、富浦の水泳は何れも此の十一日から開始されるので、夫れ夫れ準備に忙しさうです滿鮮旅行隊は、十五名の生徒が矢部、森山の二教授と竹島助教授に引率されて十二日下關乗船、釜山、京城、平壤を經て十九日奉天に出で遼陽、撫順、旅順等を殘らず視察して廿六日大連を出發、下關で自由解散を行ふと云ふ事です富士登山隊は約四十名、細田、二階堂兩教授、高橋教授の三先生に引率され二泊三日の豫定だが先づ飯田町を出て麓で泊り翌日は七合目で泊つて其の翌日下山するさうです房州富浦の水泳隊は生徒が三十名、川上、喜多見、西島の三教授引率の下に二週間の豫定で出かけるさうです（東京）

◉欅村講會二日目

三越樓上に開催中の徳田欅村氏の半折講展覧會の二日目は日曜日のため午前中より觀覧者多數あり實約済となれるもの頗る多く尚ほ九日も開會の筈

愛讀者優待

東京相撲 木戸割引券

本券御持參の方に對し一名限り册錢の木戸を廿錢に割引致候

京城日報社

鎭南浦興行中

◉主、金を拐帶

平南安州郡州面栗里□子壽（二七）は同面建仁里中□久田義讓方に雇はれ中年の得意先より貸掛代金三百八十六圓を集金横領し二月初め何れへか逐電したるを手配中なりしが六月二十六日安東縣驛館警察署の手に逮捕されて州分隊に押送され取調べの上裁判所に送らる

◉人妻を誘拐す

全南咸平郡咸平面上丑里の崔先明（二七）同金洪先（二二）は松汀里妓生家鄭東浩方より妓生の周旋を頼まれ探す内羅州郡文平面葛馬里尹基淳の妻金米禮（一八）と云ふが病身の夫を嫌ひ家出せんとせるを聞込み一儲けせんと二人にて金米禮を誘ひ出し金もあるし身分もある夫を周旋するに付家出せよと巧く話を持ちかけたれば米禮は二つ返事で之を承諾し其まゝ病氣の夫を打捨て二人に伴はれ松汀里に來て見れば嫁に周旋する等とは眞赤な嘘にて自分を妓生家に賣飛ばさんとするより附人に抗議を申込み中を非筋にて引捉へ取調べの末前記の次第と判明せしかば誘拐罪にて檢事局送り女は虎口を逃れて歸宅したりと

◉猛獸被害のかずく ▲平安北道に於ける

（平北）楚山郡南新面作山洞にて陷穽を懸け六月五日體量四十五貫の牝熊一頭を獲たり▲寧邊郡八院面陽地、朝陽、龜山の三洞民五百餘名二十一日一團となり八院駐在所の巡査が指揮して大卅山を狩りし五頭の豹を發見し内一頭を射殺せり▲龜城郡天摩面羅洞李甫渉方にて十三日狼群の爲め牛一頭を咬殺さる▲同洞金希浩方にて十四日豹の爲め牛一頭を咬殺さる▲謂原郡和昌面文明里韓東爕方にて十五日豚一頭狼群に咬はる▲同郡洪正面龍湖里宋炳輔方にて十三日豚一頭を咬はる▲原昌郡郡內面明洞にて十七日豹の爲め犬一頭を咬はる▲江界郡從西面……にて十七日より十九日の間に豹の爲め犬一頭……▲……にて十八日と二十三日とに……狼群に咬殺さる▲……

◆中元の◆ 贈答品 ▽何が好いか△

中元の贈答季節が來た、本町通りの各商店では例年の事ながら種々の工風を凝らして顧客を惹くに努めてゐる

◆今年は物價騰貴の甚だしいため贈答品には可なり多くの金を拂はないと氣の利いたものを擇ぶ事が出來ないやうな有様だが、富豪とか上流とかその他特別の向きでは、値段の高下に拘はらずい〻品物を贈答するであらうが普通一般の家庭にあつては十分に注意して格安で而かも贈られて便利なものを調べるやうにしたい朝鮮で安いのは何んといつても砂糖であるが、中元の贈物としても最も相應はしいものであらうと思ふ

◆それに外の代價が概して二三割方づ〻騰がつてゐるのに砂糖は昨年の盛頃に比べてそんなに騰つてゐない、今の小賣値は一斤十五錢である、贈答品としては多少體裁を整へる必要上袋入と木箱入、樽入等があるが、此の内で最も體裁がい〻といふところから近頃は箱入が流行する、袋入は二斤入から十斤入までだが値段は一斤の單價通りである

◆木箱入は五斤、七斤、十斤、十五斤、二十斤となつてゐて箱括みの値段は九十五錢、一圓二十五錢一圓七十五錢で十五斤以上も之れに準じた値である、樽入の方は木箱入より各五錢高である、それから角砂糖は最近四五錢騰がつてゐるが、之れは一ポンド二十八錢で二ポンド五十五錢、三ポンド八十五錢、五ポンド一圓四十錢といふ事になつてゐる

◆之れなども恰好な贈り物であらうそれから砂糖に次いで贈答品として重寶なものは鰹節であらう、京城に最も多く來てゐるのは土佐節に鯖鰹節であるが、京城では以前から本幾何といふよりは斤匁で取引されてゐるので一本に就いての値段は表はし難いが、上等物で一貫目八圓から九圓位の相場である、之れを贈答品として紙箱に入れるとすると

◆四五本入か一圓內外の見當になるから土佐で一本四五十錢見當となる、鰹節に亞いで調味品として需要の多いのは味の素で之れは一箱七十五錢から一圓、一圓五十錢までである、その外奈良漬が一樽二圓、素麵が五貫匁入の大箱が五圓、紙箱に分けて入れたのが八十錢位からある、是等は何れも實用向きの贈答品としてあらゆる家庭に推薦する事が出來ると思ふ

◉仁川天一の奇術 京城に於て大好評を博したる魔術師松旭齋天一一行は……の金庫花瓶の曲藝等の外露國女優……の最新のダンス其他妙技百出す殊に……

總代の一人たりし小竹武次氏今般內地へ歸還の爲解職を申出でたるにつき去る五日社務所に於て……

荒木直、米國人ヘリソン、同ジシセス、ヤンニング、二等（四十六名）洋侯子、同富美子、同房子、谷頭宮代子、同初枝、同龍子、石原眞一郎、高見竹藏……三等一百（四九名）七日午後九時二十分釜山入港高麗丸

讀者文藝（一等に五十錢…）

△川柳「約」

△約束が割引される日本人　仁川　龍廼舍

△約束の日になると……　釜山　……

△婚約済と聞いて若い衆……

△約束をたぬきそやらに……　京城　……

△添ひたてば二世も三世も約束し　汀舗　……

一等なし　規定及び課題は欄外にあり

（讀者文藝）課題及び募集規定

▲募集規程　同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記……

天氣　晴れ時々曇り（八日午後六時發表）

□演藝案内

櫻井町 大正館　電話八七三　七月九日より特別興行 ……

京城壽町 壽館　電話一〇三　二代目桃中軒雲右衛門一行 ……

二代目 御成座　電話一九一　一行八日の替藝題 ……

本町五丁目 稻荷座 ……

明治町 浪花館　電話二六〇　浪界明星京山若圓、原晴夢合同 ……

桃中軒 二代目 雲右衛門 壽館

早川演藝部直營 有樂館　電話二二五 ……

黄金館　電話二六三七・六五二 ……

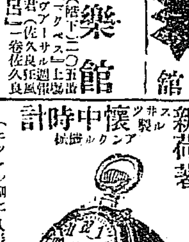
告別御禮　小竹武次

吸入瓦斯機買入 吸入瓦斯中古機　大田皮革株式會社內 本間巽

大阪市 坂口紙特價表 ……　卸商 坂口友次郎

てんかん ヒキツケ ……

新荷著 懷中時計 ……



イングレッソー商會　京城本町二丁目　電話九七二番

周易 介石堂　明治町二丁目　岡村介石

何れの家庭にも常備の救急薬 ＋安川コロダイン（登錄商標）赤十字印

むねはらいたみ・しよくあたり・はきくだし・きつけ・どくけし・には

効力非凡なる本劑は一般に定評あり

本舖 安川晃榮堂本店　東京市日本橋區上槇町

誇るべき 羅南水道
幸福なる市民

敷設されてより早くも九年の歳月を経たる羅南の水道は経過年數に於て全鮮第五に位して居る然かも其地が一寒村より

▽一躍軍營地 となつた急激なる發展年次から云へば恐らく全鮮否日本國中匹敵するものはなからう而しながら羅南水道は羅南の自力に依つて敷設されたものではなく陸軍て云ふ偉大な力に依つて貧弱な羅南に不似合ながらも敷設された譯である而して市民は其餘水を頂戴に及んで居る譯だが

▽人口三萬迄 は充分供給し得る設備になつて居ると云ふから師團が完成して要員が充實した處で差當り給水を停止されたり不意に斷水されて面喰ふ様なことはない然しながら現在の羅南程水道を濫用する處は全鮮は勿論恐らく内地に於てもなからうと思はれる尤も

▽飲料水以外 に工事等に使用される水量も少なくないが風呂や畑にも軍人軍屬は云ふも更なり餘する頂藏の地方人迄が犠牲で使つて居る其結果は軍隊を併せて五千足ずの人口が一日八千石と云ふ多量の上水を使用して居る工事用水を差引て少なくも

▽一人一石 以上の水を使用して居ることは事實だ總ての機關が完備せる京城の如きでさへ以前より夜間斷水の状態にあることを思へば贅澤に上水を使用し得る羅南市民は此點に於ても既に幸福と云はねばならぬ他地方に於ける

▽使用率如何 と見れば大抵約一人當六斗より八斗迄の間を上下して居るに過ぎないようである而して一立方耗中の細菌數は布引を水源として日本第一の稱ある神戸水道の十三に對し羅南水道は實に十一の績を示し日本一の名譽を擔にして居る然るに日本の水道は

▽世界に於て 邦土の山紫水明と共に最優秀の位置にある、されば羅南の水道は全く細菌力の少ない上に於て世界第一かも知れない處で水は細菌の少きのみを以て優秀とすることは出來ない飲用の適不適は水の軟硬に依る羅南上水の硬度は〇、三餘り軟らかい方でない概して

▽朝鮮の水道 は硬水なるを遺憾とする、されば工業用として或は洗濯用としては餘り適した方でない又醸造用としても無論水の如く純良過ぎて適當でない而し夫は酒若くは醤油としてのことで人體には最も優秀な尊重す可き水質である事は事實が證言して居る(清水)

殉難火夫の葬儀
故郷から母と兄が來て

去る四日午前三時半頃京釜線鳥致院附近に於て汽車轉覆の爲め殉職したる大田機關庫火夫見習柿元満盛(二〇)の屍體は直ちに收容して大田に持ち來り生前の居主なりし鐵道第五號合宿所に安置し故郷の父兄や天安驛に勤務する次兄某の來り會するを待ちつゝありしが次兄は五日大田に來り故郷よりも六日の急行列車にて母と長兄とが乘るとの電報ありしを以て機關庫主任其他の職員同僚間に於て六日午後一時を期し西本願寺に於て假葬式を舉行し終つて共同墓地にて一片の茶毘に附し遺骨は母と兄に捧持せられて故郷鹿兒島市外の谷山村に於て本葬に附せらるゝ由なるが故郷の母と兄とは連絡船の延着や何かの爲め午後一時迄に到着する事能はず午後五時に到着したるも何分時間が決定し居たる爲め母兄の到着するを俟つに到らずして葬式を舉行する事となりしは返す〲も氣の毒の極みなりし(大田)

オトギバナシ 蚊の相談

日暮頃になつて、蚊が何匹もお家の中へ入つてまゐりました。文子さんは蚊遣線香を二本、箱から取出して、マッチで火をつけ、それを火鉢の中に立てました。蚊遣線香の煙がポツポと立ちはじめました。

『折角やつて來たら、厭な匂ひのする部屋ぢやないか。あ、臭アー!』

一匹の蚊が、かう申しますと、

『さうだな。厭な臭ひのする部屋だ何がこんなに匂ふのだらう。』

と外の一匹の蚊が云ひました。蚊遣線香の煙は、だん〲部屋中に行渡りました。

『あ、臭い〲。これはいけない。これは堪らん。眩ひがしさうになつて來た。本當にこれは堪らん。』

『俺もさうだ。待てよ。あれを見ろ!』

『何だ〲?』

『彼處に線香が二本立てゝある。煙が次から次に立つてゐる。あれだよ〲。あの線香の煙がこんなに臭いんだよ』

『さうか〲』

と大勢の蚊どもは、火鉢に立てゝある二本の蚊遣線香から出てゐる煙を眺めまして、

『うん、あれだ〲。こんなに臭い煙を出すのは止して呉れゝば好いのにな』

『本當だよ〲』

『一つ、あんな煙を出すのは止して貰ふやうに相談をして見ようぢやないか』

『好からう〲。總代で五六疋行つて相談をして見よう。これは堪らん臭い〲』

と蚊どもは五六疋の總代を選んで蚊遣線香に、煙の止め方を相談することにしました。

總代に選ばれた五六匹の蚊どもは、直ぐに蚊遣線香の傍へやつて行きまして、

『もし〲線香さん〲。どうぞ煙を出すことは止して下さい。失敬ですがあなたの煙は臭くつて〲仕様がありません、臭いだけなら我慢されないこともありませんが、あなたの煙の匂ひを嗅いでゐると、眩がしさうで、手足がしびれて、飛んではゐられなくなるんですから、どうぞもう煙は出さないで下さい。お願ひです〲。』

と申しました。蚊遣線香はやはり臭い煙を出しながら、總代の蚊どもに向つて、

『お氣の毒だが、煙を出すのは俺の役目だから止す譯にはいかないよ。』

とはねつけました。

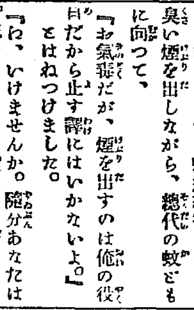
『ね、いけませんか。隨分あなたは強情ですね。あ、眩ひがし出した。あ苦しい。線香さん助けて下さい。そんな厭な煙を出すのは止して下さいな。』

『本當に線香さん止して下さいな。』

『總代一同のお願ひです。』

蚊遣線香は、ちつとも煙は出し止まないで、

『いけない〲。よし又いくら出すまいとしたところで、頭ののつぺんに火をつけられてゐる限り、ひとりでに、ポッポと煙が出るんだから仕方がない。俺の煙がそんなに臭く、そんなに厭なら、一層のこと家の外へ逃げ出した方が好いぢやないか。』



と云ひました。蚊どもはこれを聞いて、

『さうですね。あなたが止せないと仰しやるなら、逃げ出す外はありますまい。命には代へられませんからね。』

と外の蚊どもにもさう云つて、急いで外に逃げ出してしまひましたとさ

大阪から アッと言はせた
青霞生

▽珍　茶　會

▣大阪第一流の骨董商春海調古庵が硝子屋になつたのではないかと云ふ珍茶會が三日大阪美術俱樂部で催されたギヤマン切子の器物揃ひでアッと驚かせる趣向とは聞いてゐたが實際に拜見しては只々驚かされるの外はなかつた。

▣待合の床は眞笑虎溪三笑横物、染付獅子の香爐、床脇半江四季山水帖、紫端溪虎山の硯、方干魯の古墨、本間の床は清巖寒山拾得讃めき、備前釣船の花瓶に見萩と芒顔、いよ〲化物屋敷抜けの景物を見る如く外に凄い思入れは夏向きに甚だ妙で、千日前あたりから買ひに來はせぬかと思はるゝ趣向『釜』は淨清八角、茶器は廣口丹波肩衝『井戸脇』平茶碗、替ノンコウ黒楽茶杓は遠州共筒二面を使つたは、和製スプンを利かした洒落か、氷で薄茶を立てなかつたが不思議の一つと聞ゐた。

▣階上の食堂は呼物のギヤマン盡し椅子卓子菓子皿煙草盆其他一切硝子器でアッと云はせられた、其處へ自慢の寛齋瀑布の掛物、明治十六年讃岐金比羅へ奉納したを宮本宮司が永年勤勞に酬ゆるため貰つた品、寛齋先帝拜領の金印『御用』を押捺した稀世の逸品だと云ふが取合せは未だしい、花入古銅に睡蓮河骨紫萩は無[illegible]だが、座敷の隅の氷柱に錦魚を閉ぢ込められ斷末魔の苦痛を見せて血を吐いてゐるなどは愈々怪談的趣味を發揮したもので興味索然。

▣しかし涼しい趣向は甚だ結構で凝つたものと云はざるべからずである太閤時代闍國渡りギヤマン切子と云ふもの〻割合に新しい舶來品らしいのも涼しい一つで、値段を聞けば愈々驚かされて肌に粟を生ずる次第で此次はいつぞ怪[illegible]茶會と名づけ趣向を凝らし、一切備へ物盡して四十八點の硝子小器が五萬圓に賣れると云ふやうな化物を飛出し、アッと云はせるやうなギヤマンを盛らせる策は如何に、春海調古庵がお勸めする。

渚の砂

⊙自轉車を盜む　京都府桑田郡龜山町生れ京城櫻井町一丁目居住永田豐一(一七)は六月五日同町片桐某方の自轉車一臺(四十圓)を窃取して入質せんとする所を巡査に捕はれ本町署にて取調べの上檢事局へ送らる

■虚榮から萬引　山口縣厚狭郡萬倉村柏村まさ(二五)は役者の女房になつて興業して廻る內到る所で呉服類の萬引をして此間捕へられたが亡父は縣會議員をしてゐたこともあり自分は女學校三年迄行つたが虚榮の爲め[illegible]して舞役者と懇な仲となつたのださ

■小學教員と俳優　熊本縣[illegible]

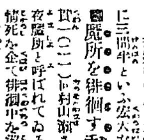
■髯を蓄へた婦人　十六名から成つてゐる露國觀光團は先頃から東京を初め各地を遊覧してゐるが中にパブエース嬢(二二)と言ふて長さ五六分位の髯を蓄へてゐる婦人があり寫眞を撮る際にはお髯を隱然映して下さいと愛嬌を振りまいてゐる

■東洋一の水泳場　東京神田美土代町青年會館附屬體育部では五萬圓を投じて昨年から新築中の屋内水泳場が七日落成した十間に三間半といふ宏大なもので東洋一だといふ

■魔所を徘徊す　千葉縣香取郡常盤村佐藤賢一(二二)同村山瀬さく(一九)の二人は五日夜魔所と呼ばれてゐる鎌子夫人情死の場所で情死を企て徘徊中を巡査に抑へられて各親元に引渡された

■人か鬼か　神奈川縣中郡大磯町生れの土方猪尾寅吉(二六)は四日夜兵庫縣有馬郡山口村西川庄吉(四九)の娘とく(一七)に懸想してゐたのを撥ねつけられたからとて竹槍と大鉈を揮つて庄吉を惨殺し妻さき(三六)に重傷を負はせ其の鮮血の中でとくを捕へ辱めた

その日その日



⊙夏季の登山や海へ遊びに參ります時の御辨當は何と云つても携帯に便利で腐敗しないサンドウヰッチが一番の様です左に其數種を▲ハムで拵へますには上等のハムなぞつと薄く適宜に切つた食パンの方には兩面にバタ、芥子、鹽、胡椒をぬりませたものをぬりその間に薄く切つたハムを挾みます▲ハムとバタの良香で味が大層よろしいます▲煎つた落花生を擂鉢でよく摺りバタと胡椒とで味をつけ食パンを二三分の厚さに切り一面によくぬり付け上から同じくパンを合せます▲之は大層香ばしく滋養にもなります▲ジャムを材料に使ふ時は苺でも葡萄でも何のジャムでもかまひませんパンにぬつて挾みます▲鶏肉で作る時は之れ茹でゝあるか又はロースで用ひますその拵へ方は前のハムの時と同様

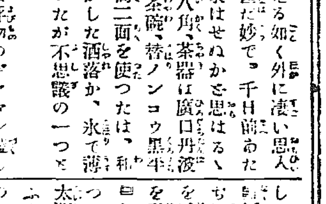
▲釜山の[illegible]術團一行 [illegible]

▲高木商店[illegible] [illegible]

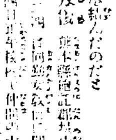
日の雨日劇場座に於て興行する事となりたるが其番組は天壽、天時、天房、天朝其他の火燃のハンケチ、チャフリンの滑稽時計の當て物不思[illegible]出現に於ては大懸賞を附し鐵箱發見者に對しては米十俵(金百圓)を提供するを以て興味ある可し

◉京城神社大總代補缺　京城神社大[illegible]當選就任したり

◉連絡船上陸客　七日午前八時廿五分釜山入港さくら丸二等客[illegible]、米石政男、同きせ、同政良、井石又次郎、[illegible]、大原正藏、大田時枝、金子捷美、廣瀬豐松、伊藤[illegible]、高島眞吉、田中一吉、中江勝太郎、梶原文七、山口初三郎、吉池直哉、同ちよ、同重夫、同試、上尾たか、竹下しづか、徐丙萼、藤島宗太、清水さき、奥田ひさ、堀田たきの、藤田健三、永井出來三、西山さしよ、吉田茂郎、[illegible]、同周子、納戸得哉、押村梅月、同たけ、同もとよ　三等(五十六名)



賛化病院　京城本町二丁目　電話二四一番
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏
內科 小兒科
入院隨意
無料施療す 每日五名を限り



七日ツケたら鏡をごらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケ、おしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料內地八錢 清鮮卅錢　東京神田和泉橋際 松本藥店
小瓶二十錢　徳用四十錢

◀世界的大魔術▶
世界的大魔術 松旭齋天一一行來る
一行第三回渡米研究鮮なる妙技を演ず
賜天覽 魔術大博士 松旭齋天一師出演
天榮孃、天時孃、天子孃、天房孃、中華民國人外
モスコー市オペラ座專屬 露國男女優團出演
初日七月八日 午後六時開演
仁川 歌舞伎座　電話一七六番

使ひ心地よく
芳香比ひなき
決して皮膚の
荒れる事なき
用紙を擇び、香料を選び、製本に注意し白粉は純無鉛の御園を用ひ、淡紅色の紙をも添へ、決して皮膚の荒れる憂ひなく匂袋の代用ともなる紙白粉はこれなり。
御園紙白粉
お買物、御散歩、芝居見物、御宴會など多人數の席へお出掛の時、手早くお顔の穢れを拭き取り、容易く化粧崩を直すに一番使ひ心地のよい紙白粉はこれなり。
壹册 金十五錢
本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(71)

ゆえ暑中の御贈答品として
夏の日ヤケを防ぐ家庭化粧料
ホーカー液の中瓶、大瓶は一本づゝ桐箱入ゆゑ一本にても體裁よく、夏季の進物と御家内中に喜ばれます
白さは新發見と評判さるゝ新製
ホーカー白粉の三個入進物箱は頗る優美!
●定價○ホーカー液小瓶二十錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢○ホーカー白粉一瓶二十五錢、三個入七十五錢(直接御注文は振替又は三錢切手)
東京神田和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店 電話神田特長一四三・長一四四・一五一五 振替東京一五六

明君道中記

第二百席　　田邊南龍口演

德川政府切支丹を悉く禁せられましたが最も織田信長公は耶蘇宗を大層信仰して京都に永祿など云ふ耶蘇の寺を造らへましたが永祿年間に出來た故に永祿寺と命けたのでございます。處が年號を寺號に用ゐる事は恐ましいので後南蠻寺と改めまして此の寺へ宗門の者を集めまする、すると彼の國の教師とも云ふ者が向ふへ大きな姿見を立て置いて信者を一人〳〵に映させます、映した者は鏡を見ると身體だけは自分であるが頭は牛馬、又は鬼などに映りますから肝を潰して居りますと此の時教師が「お前さんは前の世には鬼であつた我宗門を信じなされば頓て角も折れ牙も取れる故一生懸命に念じなさい」と云はれて信者は一生懸命に水を浴びて祈り一月ばかり過て映して見ると自分の姿の儘でございます教師は是を見　教『それ御覽なさいお前さんの信心が通じ角もなくなり牙も取れた此上共に一心に念じなさい』怎うした上に金銀財寶を與へました、貰ふた者は大いに喜び實に有難き宗門であると日に增し信者は增加て參りまする時に太閤殿下秀吉公此を御覽なすつて　秀『物には謝するの禮と云つて敎はる方より禮をすればと云つて敎へる方より禮をする理由はない是は金銀を與へて人の心を買ひ行々は我國を奪ひ取らうと云ふ計畫に相違ない此の宗旨を日本へ廣めてはならん」と思つて是を禁せられまするその後家康公が悉く此を禁じましたので、されば此の宗門の者は容赦なく召捕て所置に付けたものでございます然るに彼の唐津屋源右衛門は此の法を犯さずして代官石原の邸に召捕られたと聞いて此を助けたく思召し大津の宿の十四屋の主に申し付け源右衛門の娘お園をそれへ召されましたのでございますが娘お園は近日父がお所置に付くと聞いて明け暮れ涙にくれて居りまする處へ主の迎ひに依つて長七郎の居間へ同道いたして參りました　仁『ヘエーお客樣娘を召連れましてございます、ナアお園さん此方へ入つて御挨拶をなさい』お園はそれへ兩手を揃へて挨拶をする長七郎娘の姿を御覽なさると成程容色姿麗しく從容に手をつかへたから　長『オー主人その娘と云ふは此の者か　仁『左樣にございます　長』コレ娘此方へ入れ段々主人より樣子を聞いたが不運なるは源右衛門、予が助けて遣はすから決して心配をいたすな　娘始めましてお目通りをいたします　妾は園と申す不束者何分にも父が助命に相成るやうお願ひ申します　長『其方が孝行の事は主人より聞いたが感心いたす　娘『恐れ入りましてございます　長『コレ主、近日源右衛門が所置になると云ふ事であるがその時には其方刑罪場へ案内をいたせ　仁『その時は市中を引廻しますから直に知れます　長『左樣か其時には云ふてくれ　仁『畏りました』酒肴を取寄せ娘に勸め且お酌なぞさせてその夜はお寢みに相成りましたが是から娘のお園は長七郎君のお傍に參つて御給仕や寢起きの始末をいたして居りまする木鼠の三次は是を見て宅兵衛に對ひ　三『三宅さん　宅『何んだ　三『何んだぢやアねえ彼のお園坊が始終親玉の傍へ來て居るが何んの事は無ねえ猫の傍へ鰹節を置くやうなもので危ぶねえせ、今に親玉が彼のお園坊を窘めるかも知れねえ　宅『馬鹿な事を云ふな』と叱られて三次は退つたが是から三日目の事で、表はワツ〳〵と云ふ騷ぎでございますから長七郎主を呼び　長『大層騷がしいが何事か出來たか　仁『ヘエ、愈々今日が源右衛門を引廻しますので程なく家の前へ參ります　長『オー然うか、然らば主刑罪場へ案内をいたせ』と御支度をなされました。

外科　花柳病　ひふ病
京城旭町一丁目三三
牧醫院
更科本店裏

皮徽科
皮膚病　徽毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
京城明治町二丁目（元旭町）
佐藤醫院
（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

京城名物
知らない人に
木村屋アンパン數へたい
（京城明治町　電二八七〇）

七月十日
丙 五月廿二日 癸丑
本命 五黄 八方危 友引

▲五黄●● 依怙贔負の事有日新事見合南方は吉劍なし▲六白●● 上品なる日韓居入學行商名弘家作求職探鑛婚禮水利爬川柴等爲吉▲七赤●● 穏成の日韓居入學旅行名弘求職建築金談婚禮定期業等皆吉▲八白●● 力づくにゆかぬ事有日新事手控萬事は吉萬事叶にせらるべし▲九紫●● 安排よき日韓居行商入門出漁金作婚禮求職入組の和を計る等萬吉▲一白●● 他氣のさす事有日新事手控萬事は吉女子は行儀を守らるべし▲二黑●● お爲ごかしの事有日新事手控萬事は吉保證請印等を禁ず▲三碧●● 情逆ひ事有日謹て新事手控萬事は吉一切の賭事を禁ず▲四緑●● 忘りになる事有日新事手控萬事は吉衛生に注意せらるべし

▲書籍案内▼
民友社發行　女義士傳　價五〇　郵〇八
村上浪六後編　稻田一作傳　價七〇　郵〇五
桃川如燕　名婦傳　價六〇　郵〇八
早川貞水　赤穗義士傳　六冊　各價四五　各郵〇八
松林伯知 桃川如燕　御前講談　價七〇　郵一一
國民新聞社編　理想の家庭　價五〇　郵〇八
京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

宮内省御買上品

美顔水

都會の婦人と垢ヌケ

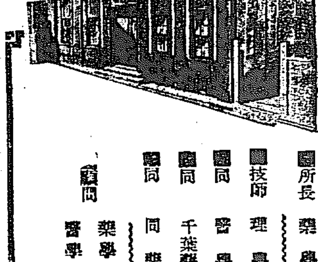
都育の人は一般に山家育ちの人より垢ヌケしてゐます垢ヌケして居るからこそ都育ちの人は美しいこ言はれるので。此「垢ヌケ」が無かつたら目鼻立なぞでは那麼に甚く變つてゐるのではありません。夫故美しくなるのには「垢ヌケ」が一番に必要だこいふ事がお分りになりませう。所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝ご言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮こ入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顔水で殊に桃谷研究試驗所の學者が發見した新しい美容素を原料に加へてから、美顔水の効力は一層強くなつたので有名です。ですから美顔水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人ごなられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛なのです。

垢ヌケする化粧水　美顔水は非常に皮膚の新陳代謝を活潑にして垢ヌケする樣に出來てゐるので、一瓶や二瓶で止めずに常用なされば、自然に見違へる程美しくなるのです

理想的の白粉の溶水　化粧用美顔水で白粉を溶いてお化粧なされば白粉のノリやノビが非常に良くなり、白粉が自由自在に言ふこごをきいて、思ふ儘に美しいお化粧が出來ます。また美顔水には

粘り氣なしに荒を防ぐ　こいふ珍しい成分が入つてゐますので、粘り氣を好まれぬ方々に大層重寶がられて居ります…………ニキビ吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお勸め致します。

▲美顔水の品質をいよ〳〵優秀ならしめたる
桃谷研究試驗所
所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
同　醫學士　米倉昌達
同　千葉藥學士　小磯勝次郎
同　同　藥學士　齋藤銳助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
醫學博士　山本淳二氏



年金　五ヶ年
恩給　長期立替
大阪道頓堀大黑橋北詰　湊屋
京城商品陳列館南之坂　湊屋代理店

りん病
急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋病全治藥　七日分九十錢　十四日分一圓四十錢
誠をお用ひあれば全治迄一圓九十錢
本舖に御注文あれ　店に御買せず直接本舖に
京城黄金町三　振替京城三二七番　山田文殊堂藥房

皮膚病藥
ホシセプチン
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥
定價金十錢
▲いんきん ▲たむし、しつ ▲ひぜん、毛虱 ▲しらくも
東京市……町三　星製藥株式會社
各地特約店及賣藥店にあり

金露
攝津灘　大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座一四二五番

汽車　京釜線　[illegible]

京城日報
七月九日 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五十錢 郵稅一ヶ月金十錢 (廣告料 ……)
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 ……

第三版

……建議され大連會議所を代表して鈴……全部參建とせば滿洲特產の大豆取引は半減すべしとの說もあれば又一方には金建にせよ銀建にせよ特產其是非を……採用の必要あるべしとなるを以て……して明白なり殊に日本の勢力を涵養に布き商權の擴張發展し行く上よりの意見も有之候、併し大連市としては事實上銀取引に重きを措ける現情の如く神成氏を上京せ……

▲海員慰安所 大連海務協會の會長楠崎猪太郎氏は今回海務協會の隣接地に十萬圓の豫算を以て海員……の計畫を立て而して其の十萬圓の建設費は有志の寄附に據ることゝし其の寄附を募集せんが爲め六月末より七月二三日に亙り市內有志を請……

[雜]木浦 ……からざること、し……存申候勿々不一
▲木浦海藻組合に……取扱たる海藻は六月中……八十六錢最低四圓にて計二千八十二圓四十七錢眞布は八千八百十五斤最高七十五圓六十一錢最低三十二圓三十錢にて計五千九十圓六十二錢其他小凝草の七千七百八十三斤櫻草の千……
▲竹下衛生主任巡査を聘へ田北府衛生主任及び木浦衛生組合長同行惡疫時洞に於ける木浦避病舍の臨……をなし器具備品の整理各室各所を詳細に點檢したり

支那商工業の變遷(三)
今關天彭

十九、清代の商業(其三)

また陸地の商埠は、黑龍江は璦琿二十八年(元慈二年)露國と訂約して開き、蒙古の恰克圖即ち買賣城は、雍正五年(享保十二年)同上國と訂約して開き、この外新疆省の塔爾巴哈臺と伊犂とは、咸豐元年(嘉永四年)同じく露國と訂約して開き、同省の喀什噶爾は、咸豐十年(萬延元年)露國と同斷、同省の烏魯木齊及び天山南北は、光緒七年(明治十四年)露國と同斷、吉林省の烏蘇里江、黑龍江省の松花江は、咸豐八年(安政五年)露國と同斷、蒙古の庫倫は咸豐十年(萬延元年)露國と同斷、蒙古の各盟は、同治元年(文久二年)露國と同斷。各盟とは、蒙古には各部に盟あり、盟に盟長があるので、斯く云ふのである。直隸省の張家口には、咸豐十年(萬延元年)露國と同斷、甘肅省の肅州即ち嘉峪關は、光緒七年(明治十四年)露國と同斷、廣西省の龍州は、光緒十三年(明治廿年)佛國と同斷、雲南省の蒙自は同年、同國と同斷、同省の思茅は、光緒二十一年(明治二十八年)同國と同斷、同省の騰越は、光緒二十三年(明治三十年)英國と同斷。また奉天省の鳳凰城、遼陽、新民屯、鐵嶺、通江子、法庫門、滿洲里、吉林省の長春、吉林省城、哈爾濱、寧古塔、琿春、三姓、黑龍江省の齊々哈爾、海拉爾、愛琿等は日露戰爭の後、日本と條約を締結し、日露兩國の軍隊が撤退するを待ちて淸國で自ら開いた。

この外に租借港がある。露國の租借港は、奉天省の旅順口(軍港兼商港)大連灣(商港)で、獨逸のは山東省の膠州灣(軍港兼商港)英國のは同省の威海衞(軍港兼商港)と、廣東省の九龍(商港)佛國のは廣東省の廣州灣(軍港)であるが、これみな光緒二十四年(明治三十一年)日清戰爭の後に、各國より租借せられたのである。而して旅順口、大連灣は日露戰爭の後、露國よりの租借權を日本に讓渡し、また膠州灣は、一昨々年の日獨戰爭の結果として日本の掌中に歸したが、歐洲戰爭の結果を待つて、その權利が定まるのである。

開港以後の支那は……を輸入し……、それ以前と……一變した。則ち水上には汽船あり、陸上には鐵道、電信、電話があつて、交通の要具は略ぼ備はり、各地の商業も從つて活潑の姿となつて來た。また歐米各國は支那をその商品の捌口とするに骨を折り、商業上の競爭は、驚くほどの劇甚を來した。上海が東洋第一の商港となつたのは、何の不思議もない事で、必然の現象であるのである。かく西洋輸入品の過大となるに至つて、淸國は海關を立てゝ稅を取る事とした。洋關稅とは即ちそれだ。洋關に稅務司があり、その上に總稅務司があり、兩者ともみな外國人を用ひた。英人ハートの如きは、支那の稅權を掌握すること數十年間に及だ。近年に至り、支那政府では、稅務處督辦を設けてこれを統治し、各關の監督は、財政部の直轄とし、專任のものあり、兼任のものもある。洋關の外には、各地に從來の關があつて稅を取る即ち常關である。また洋關・常關の外に、到る處に釐金稅を取る。これは咸豐年間、長髮賊掃蕩の軍費不足から始まつたもので、釐とは百分中の一釐を取るのであるが、長髮賊平定の後にも、これを廢止せず、却つて一釐若くは半釐を增徵する事となつた。その取扱所を局または卡と曰ひ、貨物の通過するごとに取るのであつて、支那の惡稅として隱れもないのである。

學界の惡風潮
大阪支局 靑霞生

○大阪高商紛擾事件は教育界の惡風潮を遺憾なく發揮せる寒心すべき問題なり、近時學校生徒の教員を見る自己等が雇へるダイプラリストの如く師弟の情誼全く地を掃ひ、やゝもすれば反抗排斥黨を組んで不穩の擧に出づ、惜むべく戒むべき惡傾向なり、三尺去つて師の影を踏まずとは古き訓言なれども亦東洋道德の美點を表現せる服膺すべき哲言なり

○今回大阪高商生徒側の主張なるものゝ實に不徹底を極め沒常識不謹愼と云ふの外なし、南陽館に於ける父兄學生聯合會席上學生委員の言明する處を聞けば、中村教授を失ひたる商校は空骸に等しと云ひ、之を留任せしめ得ざりし校長は信任するに足[illegible]據の不透明なる苟くも高等專門學府の學生が公然口にすべき問題に非ず

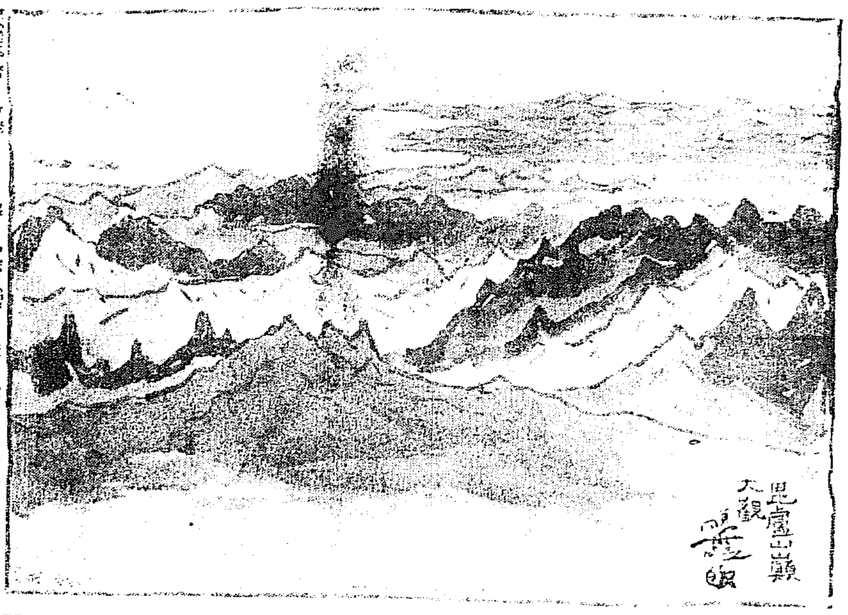
○徒らに感情に走り理性の判斷を誤れる、反省せしめざるべからず、相應富裕の家に人と成り氣儘放蕩に延び來れる靑年多く、然かも皮相の歐風教育を粉にして振りかけられたる小僧の手に遂へぬは當然にて、三年全部の停學處分は至當なり。

○職帶の步調をとりたる下級生を迫煽動する如き事あらば愈々騷擾は擴大し、善後收拾すべからざるに至り、多くの退學處分を見る又已むなをとりたれば校長は、一二年級は今回に限り特に何等制裁を加へず、三年級は停學解除七日登校を許可する事となり、兎も角表面一落著を見んとするに至れるは慶幸に堪へず。

○されど巷間傳ふる處によれば、今回の問題は單に學生等が不條理不徹底なる中村教授轉任を名とし校長排斥を叫べるに非ず、背後に潛める或分子が學生を使嗾し何等か野心を貫かんとするものありと云ふものあり、果して然らば彼等は前途有爲の靑年學生を誤り教育界を毒するもの、速……

夏の金剛山
□□□□□□□□□□ 丸山晩霞

(七)毘盧峰巓の大觀 ——毘盧峰より[illegible]の萬二千峯を[illegible]するこ[illegible]この頂に登攀すれば金剛の萬二千峯[illegible]、金剛山の[illegible]又は[illegible]して用來た奇峯又は[illegible]であるから、六千餘尺といふ高峯にて下降しても、あまりに小さくして見る事が出來ない、萬二千峯の一望するには、表訓寺に附屬してゐる正陽寺の歇性樓位の高さが適當してゐる。又この奇峰を味ふは、谷より仰ぐか、又は近接するがよい。毘盧の頂に立つとよく金剛奇峰の成因が解さるゝ、內金剛側より毘盧を望むと、斷崖絕嶮の山であるが、その反對側より見れば岩石も無い頗る平凡の山容である。金剛絕嶮の諸奇峰は、皆その背面に樹木が密生してゐるから、何れの山にも容易に登攀し得らるゝのである。この頂より北方は平凡なる咸鏡道の諸峰を望み、東方の日本海と接してゐるところ丈け、金剛的山相が現れ出し、山は波濤の如く南方に連り、長箭灣及び靈津里御內より、高城の赤壁江と海金剛等が展望さるゝ頃日來の快晴續きにて一點の雲影無く、雲海の壯觀に接せざるのを遺憾に思ふ。



誰(6)
布施生譯

番人の取調が濟むと阪は再び二階に上つて仔細に室の檢査を始めた、室には入口が二つあつて正面のは寢臺と……つて來たのである。……にもう一つあるのを開けてみると、それは細い階段で二階に續いてゐる「この階段はどこへ出ますか」「私の室へ出ますので、……あの室です」保部氏とおこんな問答をしてゐると、阪は何と思つたか「もう一度よくお室を見せて戴きませう」といふ。「間、前にも出て……」頭取部屋は二階あつて一つは應接室、これは設備も簡單で如何にも大銀行の頭取室らしくない。それに續いた事務室は見るからしい程素質なもので、書籍が幾つかと椅子が二三脚、机の上には筆や手箱と紙挾みとが載せてあるだけである。出口はすべて二つで一つは例の階段へ、一つは正面の昇降口へ出る室へ、殘る一つは住宅の方から這入るやうになつてゐる。戸外からのお客樣はすべて此の正面の昇降口から出這入りするのであつた。

阪は何だか豫期に違つたやうに少し失望の色を見せたが、軈て「隣の室を拜見します」と云ひ乍ら應接室の方へ這入つて往つた。保部氏も一所に這入つたが、鈴富は事務の方に腰を卸したまゝで、平然と構へ込んでゐた。形勢が自分にとつて段々怪しくなつてゆくのがよく分つた。

思案にくれてゐると、應接室に通ふ方の戸がぱつと開いて、美しい令孃が不意に姿を現はした。齡は二十前後、脊はすらりと品格の勝れた顏で、身裝は一向飾らず、髮も一本で一寸留めただけで、後毛がばらばらと白い頸筋にかゝるのが却て總體を艶に見せてゐる。令孃は室內へ這入らうとして、其處に居るのが鈴富だと氣がつくと、はつと驚いて、思はず『あら』と聲を立てた。

……かに黑幕の眞相を明かにし根本的解決に努めざるべからず。

○それと同時に此機會を以て校風の革新校規の振肅を計らざるべからず之最も急務なり、近來學校騷動の女學校まで蔓延普及せる甚だ憂ふべき風潮なり、當局又等閑に附すべからざる問題なるべし。

日報詞壇

○和綾江太守觀送清水檢事轉任于淸州 一番瀬聖山

接人和氣見眞情。當職秋霜功豈輕。一樽酒。留君今夜到雞鳴。

評曰 脂口輕快。情思不盡。

○呈愛山府尹 鮮日

府治淸明風俗宣。公餘詩酒樂陶然。欣忘鄙称知己。文字由來作好緣。

評曰 愛山府尹……報紙上、風流襟懷不堪景慕也、

賣却入札
小野田セメント空樽約五千個
右賣却入札ニ付詳細ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正六年七月九日 朝鮮總督府

下管 植林 土木錄 新荷著
京城太平町二丁目 山本商店

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替……

新刊報告
書名 著者 定價
▲小說 虛榮
▲東京の三十年 田山花袋
▲三坪花園
▲縮本稗史 小說第一集
▲漫畫道中記 第一輯
▲佐治式世帯の持ち方
▲十五代將軍
▲大聖日蓮
▲農村社會學
▲大正の靑年と日蓮主義
▲鹽原多助
▲最新生殖器學
▲通俗花柳病學
▲歷史的日本地理
▲印度及印度人
▲篁
▲ドイッチュランド號航海錄
▲波のまにまに
▲化學的食物研究
京城 日韓書房 本町二丁目 電話一四五 振替京城一一五番

京日案內
普通一回前金 五十錢 番外一回前金 (但し……)
▲申込後中止の節は料金返戾せず ▲六回以上の……

普通
▲極上琴 出物あり 價廿二圓 京城本町ツボヤ書店 電二五二七 216
◎店員至急入用 年齡十五六歲以上 身元保證人あるもの 電話龍山六六 一番龍山元町二丁目 松屋雜貨店 259
◎外交員入用 本人來談あれ 希望者は履歷書携帶 京城黃金町二丁目 朝鮮研究會 258
◎貸家 黃金町五丁目 畑有高尙なる庭園花木多く閑靜浴場倉庫付 蓬萊町三巴酒造場 電一〇一六
◉派出看護婦募集 多忙 明治町二丁目 電話一四一〇 惠愛看護婦會 246

番外
國下宿屋讓 目拔の場所客滿員の盛況に付希望者は正午より四時まで來談 旭町一丁目通廿四番地自轉車店すぐ裏 加藤 260
◉女辯士見習入用 希望の者は來談あれ 黃金館 261
支店長採用 收入確實 自營經營 滿洲朝鮮樞要地支店經營希望者履歷書携帶來談あれ資金八百圓以上要す 京城南大門外ドラッグ商會滿鮮本部 256
賣家 永樂町二丁目瓦葺日本建三十二坪外二階二十二坪造作付 ◉南山町三本願寺下金丹……建坪三十九坪餘 ◉入札日七月十八日 永樂町二 京城十友合資會社 251
鑛物各種分析 太平町二丁目遠藤醬油店向側入る 松永分析所 電話二八三三 200

中元御進物の絕好品
中元御進物用として優美高尙なる進物を調製致し尙ほ御便宜の爲め御贈答用切手發行致候に付最寄販賣店に御用命被仰付度奉希上候
大日本麥酒株式會社
京城出張所
京城南大門通り三丁目 電話二一四六番

國產 サッポロビール

リボンシトロン

第卅九回特別帝國議會

貴族院（八日）

貴族院は八日日曜日なるにも拘はらず午前九時より本會議を開き先づ徳川議長より阪本男、板倉子の補缺選擧當選を宣告し日程に入り追加豫算に關する十案を議題とし勝田藏相登壇衆議院に於けると同様の提出理由の説明演説を爲し終るや

▽石黒忠悳男『政府の國勢調査に就ての所見如何』と質し

▽寺内首相『國勢調査の必要は政府も之を認め次期議會に提出するやも知れず』と答へ

▽尾崎三良男『戰時税に就き政府の所見如何』との質問に對し

▽勝田藏相は『目下調査中なるも收税額は容易に料定し難し歐米に行はれつゝある率に據る事は困難なるべし』と答へ

▽柳澤保惠伯『國勢調査に對しては前内閣は一般官廳に對し訓令を發したり現内閣は訓令の徹底に努むる眞意如何又道徳維持に關する政府の所見如何』

▽寺内首相『政府に於ても同感なり』

▽服部一三氏『船舶調節滯貨に關する政府の所見如何』

▽田遞相『船舶調節の方法として外國に船舶を貸り渡し又は貸渡す事を禁ずとせば多少の効果あるべきも現在政府は其の必要を認めず』

▽柳澤伯『道徳維持に關する總理大臣の答辯は要を得ず之れ以上の答辯こあらば政府の誠意を疑はざるを得ず』

▽岡田文相『柳澤伯の意は恐らく今次の總選擧に於ける予の行動に關して指摘せらるゝなるべし衆議院に於ける質問は予が郷里の或迎合席上にて候補者を應援せる如き質問なりし故否認せり然れども其の後更に指摘する所に依れば地方候補者推薦に關する攻擊にて其人は一度刑に觸れしも既に衆議院議員として當選し議場にも無垢の人として待遇され居りたるより予は惡意なるものに手紙を以て其の推薦を依頼せり余は道徳維持に咎かならざるも衆議院及び本院より斯かる御質問を受くるは用意の足らざりし爲めなるを自覺し慚愧に堪へず』と陳謝しさしもの上院に一問題たらんとせし此の件も風雲雨降らざるに過ぎせる觀あり次に淺田徳則氏の發議にて總豫算の審査期限は審査終了次第報告する事に決し裁判所設立に關する法律案に就き松室法相提案理由を説明し委員に附託正午休憩す（東京特電）

動亂の支那

▲宣統帝退位

張勳氏は七日愈々内閣議政大臣を辭し宣統帝亦退位したるが張勳氏は辭職後一切の事を王士珍氏に託せり（北京特電）

◇大總統に就任せる 馮國璋氏

▲馮氏總統就任

七日馮國璋氏は大總統就任式を擧げたり（上海特電）

▲張勳最後の謁見

張勳氏は七日朝宣統帝に最後の謁見を爲し後事は王士珍氏に託し八日より參内せずと述べて退出し各省に謝罪の通電を發し部下全部を天壇に引揚げしめつゝあり（北京特電）

▲張勳各省に謝罪

段氏の軍は各方面より北京を壓迫し張勳氏は各省に謝罪の電報を發せり（北京特電）

▲天津に國務院新設

天津に國務院を設置し國務總理として段祺瑞氏就任せり（北京電報）

▲民軍飛機宮城へ投彈

民軍の飛行機は宮城の眞上より爆彈二個を投ぜり（北京特電）

▲日米兩軍隊北京著

日米兩國の軍隊は七日北京に到著せり（北京電報）

◎露國前陸相等渡日

露國前陸軍大臣ニコライセルキエフ氏陸軍大學校長デオドルリッチブ氏陸軍機關大佐コルドルキルバー氏の家族一行十一名は八日午後七時著同八時三十分新羅丸にて内地に向ひたるが右は横濱、東京、鎌倉、長崎等觀光の爲めなりと（釜山特電）

◎山崎工學博士逝去

川崎造船所在勤山崎工學博士は八日朝逝去せり葬儀は九日執行の筈（大阪特電）

◎日郵の北朝鮮廢航影響

日本郵船會社にては既報の如く七月上旬より其の經營に係る神戸浦鹽航路就航船二隻中和歌の浦丸を他航路に轉充し

▲立神丸一隻に減じたる結果其の寄港地中元山城津淸津の三港を廢止し釜山より浦鹽直航の事と改めしが其の影響如何を見るに乘客側より云へば最も不便を感ずるは淸津羅南會寧方面と元山の間を來往するものにて夫等の來往客は事實上日本郵船の汽船が大型にて速力も早く殊に中間寄港地も（時々城津には寄港せざる事あり）之なき事さへあるため其の海上の時間節約され又便利を感ずる事多く事實小型なる朝鮮郵船並に大阪商船の出航を見送り二三日位其の發程を延ばすも尚ほ日郵の汽船に搭乘しゐたる位なり之等は今後絶對に日郵の大型船を失ひし譯にて切實に其の不便を感ずべし其他區間の乘客は少數にて必らずしも問題とするに足らざるが如し更に貨物の方面は近時

▲北鮮の海運界は比較的閑散にて日郵浦鹽航路の如き往航は神戸門司より殆んど浦鹽行き貨物のみを積載し元山淸津等の荷物は多く顧みざる實狀にあり唯復航は荷物を各港に見出せば其の積載をなせしも之とて碇泊時間等の關係上必ずしも多量を積まざる關係あり旁々差し向き廢航の影響は甚大ならざるべきも秋季に入り大豆白豆等の内地出荷を見る時期に至らば内地行き船腹不足の聲は必らず盛んに起り來り其の調節に關する元山淸津の聲は低からざるべし尚ほ日郵の

▲北鮮廢航　北鮮廢航は自然朝鮮郵船には好影響を齎らし來るものと云ひ得べく或は其の廢航と秋期以後の船腹不足の結果日本海横斷航路に一隻配船の必要を促進し來るやも圖られずと云ふ

◎内地に於ける鮮人勞働者

内地各工場より鮮人勞働者募集の爲め社員來鮮し總監部又は各道警務部に對し之れが募集認可を申請せるもの本年一月より六月迄に總數二十一件にして其の募集人員男工四千二百二十八人女工二千三百七十八人合計六千五百九十八人に達せるが此の内既に募集渡日せしもの男女工約三千人あり勞働の種類は立木伐採、木炭燒、運搬、雜役、石炭坑夫、紡績、綿絲、製絲、仲仕、硝子製造、鐵道仲仕、同工夫、水力電氣等にして使用工場は中國製鐵、神代炭坑、倉敷紡績、福島紡績、夕張炭坑、豐原製絲、大阪富島紡績、攝津紡績、大阪櫻川硝子製造所、北海道三菱炭鑛、大阪山本紡績、福岡縣山田炭坑、同新入炭坑、同大里硝子製造工場、北海道富士製紙其他にして募集區域は南部諸道最も多しと雖も殆ど全道に亙り女工のみは南部に限られたるが如くなり彼等の日當は三十五錢より五十五錢位迄を普通とし此の他各種奬勵法等の規定あれば相當收入あり又使用者側に在ても内地人勞働者拂底の折柄とて頗る歡迎優待し彼等の内地人勞働者に遜色無きと比較的從順にして使用上利便あるに依り益々歡迎せられつゝありと云ふ

◎京畿害蟲驅除状況

京畿道にては過般來管内に於ける農作物に對し鋭意害蟲驅除豫防を實施し來りたるが最近驅除豫防を施行せしものは仁川松峴里松林里に於ける苹果樹被害面積六反歩縮蟲に由るものにして根部被害の虞れあるもの六十本は栽培者をして掘取燒却せしめ其他の被害部分は切取燒却の上枝幹に石油乳劑を塗抹又は灌注せしめたりと又同地に於ける梨樹、梅樹に發生したる介殼虫に由る被害面積九畝十歩にして之亦被害甚だしき樹は栽培者をして掘取燒却せしめ其の他は石油乳劑又は石灰硫黄合劑を枝幹に灌注塗抹せしめたりと

◎麻布生産増加

咸北道主要物産の一たる麻布生産は道當局に於て機業技手を巡回し機織方法を傳習せしむる等極力之れが奬勵の方法を講じ一方鏡城に漂白試驗場を設置し製麻漂白に關する研究を行ひ品質の向上に努めたる結果純白なる夏服地の製出を見るに至れると共に逐次生産増加の趨勢に向ひつゝあり大正元年の製産狀況は機業戸數四萬八千二百五十三戸織機臺數三萬二千四百十臺從業員七萬五千九十三人生産麻布大巾九萬三千四十四反小巾九萬九百九十六反計十八萬三千百七十六反にして之を前年に比すれば戸數に於て三千四百餘戸を生産高に於て三萬餘反を増加せるが如き順潮なる發達の跡を示しつゝあり尚ほ麻布機業最も盛んなる地方は明川郡にして鏡城郡、鍾城郡、慶源郡等之に亞げり（淸津）

◎單寧製造調査

永登浦皮革會社佐藤取締役は鞣皮に使用する單寧製造計畫の用件を以て過般來著道廳井部林業技師の案内にて富寧郡の山林を視察調査する所ありしが右に就て井部道技師は語る單寧の原料は主としてナラ、カシワ、モンゴリナラの樹皮なるが過般視察したるは同郡の御料林にして試驗の一部、嚴明山悉峰の兩國有林にして試驗の結果成績良好なるを得ば年々五十萬貫を皮革會社に供給し得る見込みなるが充分優良なる確信を有し居れば將來北道に於ける重要物産の一たり得べきは疑を容れざる所なりと

◎檢印押捺状況

既報の如く府特別税條例改正に伴ふ人力車荷積牛馬車荷積車等に對する京城府檢印押捺は去る五月二十八日より府内各町別に夫々日割を設けて著々實施し來りたるが本月六日現在檢印押捺數は人車八百七十二荷積車二千五百八十二荷積牛馬車三百五十八合計三千八百十二にして檢印を受くべき車輛數五千五百餘の見込なれば目下約七割の押捺數に達せる譯なり而して檢印押捺豫定の期限は既に經過せるが府當局は便宜上今暫らく押捺を繼續する事とせるを以つて檢印を受くべき物件の所有者にしてまだ之が押捺を受けざる向は此際至急府に出頭して檢印を受くべしと因に已に一應通知を逆せるもの、内住所不明又は轉居等の爲め通知到達せざる向も多少あるべき見込なれども之等に對しては更に通知の發送を爲さず又檢印を受けざる物件に對しては五圓以下の罰金に處する旨の規定ありと言へば檢印未受者は注意すべし

人事

▲服部京畿道警務部長　八日夜歸任
▲山口宗一氏（三井鑛山部員）▲津田政一氏（同）同夜入京浦尾へ
▲山崎忠直氏（鐵道局技師）同上
▲近　孝太氏夫妻（陸軍大尉）同夜退京
▲齋藤新兵衞氏（大阪貿易商）同上
▲三上國吉氏（憲兵大尉）同上
▲宮野信之亟氏（全州慈惠醫院醫官）同上
▲阿鄕仙吉氏（大阪鐵商）八日朝退京

■南言北語■

三浦觀樹老曰く▲イヤ大隈人のやる事は常規では律し兼ねる▲マア行く處迄行けば何うにかなるのぢやらう▲南北分裂って云った處でモウ疾くから分立して居るんぢやないか▲先づ此の處不干渉觀望が上策だネ▲世の中には徐世昌がどうの唐紹儀が斯うのと言ふ人もあるが▲己れは支那人の戸籍係りぢやないからソンナ事は知らぬ▲天津が北向いて居るのか北京が横に寝て居るのかも知らない位だが▲斯う云ふ事は結局門外漢の方が公平な觀察が出來るテ▲謀叛好きの觀樹老も支那人の謀叛競べには流石に呆氣に取られて居るらしい▲同老人の張勳觀が面白い▲張勳と云ふ男は存外融通が利く男らしい▲彼れが袁世凱だったら總統をスグ捕へて荒療治をやるだらうが▲手も著けず却て逃路をこしらへて置いた處などは見上げたものだ襟度が廣いよ▲之れが亦此の老人の口から聞へるから一層面白味があるではないか▲政府不信任案が衆議院に上程せられた日のこと▲國民黨の濱田副議長は自席から尾崎君の演説を彌次って居たが▲大岡議長に差し替って副議長席に著くと口を拭って▲諸君は靜粛に願ひますと遣ったので國民黨の面々は思はず吹き出す▲口の悪い連中が議長は豹變するものだね▲濱田君大眞面目で御靜粛に願いますは大出來

喜雨　服部古鄆
大帝一敷同化經。千年稼穡仰英靈。薫風六月三時雨。八道山河草木青。

有感
半島治鄕西興東。家々情信四鄰同。上長新下荷安義。也擬擧書學交通。

◎張勳調停を依頼す
各國公使の謝絶——列國の不評を買ふ

復辟斷行後各省の反對氣勢豫想外に猛烈なるに喫驚せる張勳氏は六日以來の戰闘一として利あらざるに狼狽し六日より七日に掛けて萬繩拭、康有爲、梁敦彦氏等をして交る〳〵各國公使に調停方を懇願せしめたるが何れも『今日となりては時機既に遲し自ら現地位を去りて天下に謝するの外なからん』とて取り合はざるより張勳氏も愈々最後の決戰を試むるに決し出征部隊を豐台に退却せしむると共に自ら定武軍を引率して出馬せり然るに第十一師と第十二師とは疾に段派と通じ張勳の計畫を失敗せしむべく注目し居りしより張氏は挾擊に逢ふて全滅を免れざるべし猶張氏が出征部隊を退却せしむる際又復部下をして豐台、黄村間の鐵道二個所を破壞せしめたるより益々列國の不評を買へり尚張勳氏の兵は全部北京城外に出で各城門は閉鎖され城内は歩軍統領に警備を引渡したり（北京特電）

◎宣統帝保護交渉

梁鼎芬氏は七日午後二時日本公使館に來り宣統帝保護方に就き交渉中なるが其の結果如何に依り七、八兩日中に宣統帝退位の上諭出づべしと豫期さる（北京特電）

◎負傷者米病院收容

[illegible]海に到著す[illegible]し（上海特電）

鳥致院

▲植付完了　久敷[illegible]七百町歩中其の三分の二は植付けを了せしなるべし▲春繭共同販賣終了[illegible]付枚數燕岐郡内に於て實に六百枚の[illegible]蠶し尠少ならざ[illegible]のあるを思はし[illegible]利な[illegible]を覺り[illegible]秋蠶期には飼育者[illegible]曄の末杉山は渡邊を根棒にて亂打し[illegible]

▲綿▼ 四千貫賣出し

春以來狂騰したる綿相場は米綿本年度作柄不良と歐洲の買收の評に伴ひ茲に破天荒の高價を顯し最底の約二倍相場と相成候或筋今上り相場の時に際し常に先約定品を以て市價の七八分方の安價に御需用に應じ來り弊店は此の相場の時に當り常に確實なる事を御認め被下候ひしと確信仕候茲に相成候へば日頃の御眷顧に報ゆる爲先約格安品入荷に付き左の通り現在相場の約一割安を以て四千貫限り賣出し仕候現在品切仕候へば一般相場に復し可申候也

㊀印 三圓八十錢　㊇印 三圓三十錢
㊭印 二圓九十錢　㊮印 二圓五十錢

右各一ヶ目正味地方御注文御見積額半額御前送願上候

綿蒲團蚊帳 メリヤス類 鞄洋傘旅行用具 子供物 毛布類

中央製綿會社代理店
丸一綿蒲團部
京城本町二丁目 電話一〇九一番

開業披露

東京手打 生そば 天ぷら ちらし

開店披露として本月八九十日の三日間二割引

京城南大門外 翁庵 電話二六八八番

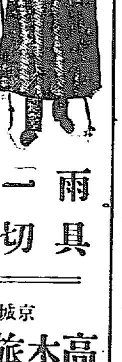
營業讓受披露

謹啓時下各位益御淸祥ノ段大慶ニ奉存候陳者今般京城製油所建物現在ノ儀並ニ營業全部ヲ讓受ケ其他一切ノ權利ヲ繼承シ大ニ事業ヲ擴張仕リ同時ニ一層奮勵努力以テ製品ヲ改善シ取引ノ敏活且誠實ヲ旨トシ營業仕候間何卒倍舊ノ御眷顧ヲ賜リ度御披露旁々伏シテ奉願上候 敬具

大正六年七月

京城南米倉町七十五番地
京城製油所
電話一六三〇番 長距離電話九七三〇番 振替口座京城四〇〇番
所主 渡邊文治

營業種目
菜種油 胡麻油 カストル油 ボイル油
大豆油 荏子油 綿實油 鯨油
白絞油 蓖麻子油 椰子油 魚油
其他油類各種



雨具一切
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶取替
□其他旅行用具一切

京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

土地家屋賣却廣告

京城府北米倉町九拾參番地（入口ハ南大門通リ二丁目トアミリーホテル及泉商會等ノ住地ニ）
土地參千五百拾七坪　同地上にある建物有姿ノ儘

右土地家屋ヲ來七月十七日午後三時小川勝平方ニ於テ入札法ニヨリ賣却ス御希望ノ方ハ左記代理人ニ就キ詳細御問合セヲ乞フ

大正六年七月七日

京城府明治町二丁目百五番地（電話四一番）
地主代理人 小川勝平
仁川府内里（電話五〇六番）
同 後藤連平

◎孫逸仙伍廷芳去來

（北京電報）孫逸仙氏は練習艦に搭乘し汕頭に向け出發せり又伍廷芳氏は八日上り[illegible]

期に入るも植付け不能に終るなからんかと、甚く危惧の念にかられ居たるも先般來數度に亙り相當の降雨ありし爲[illegible]郡內水田總面積約五千

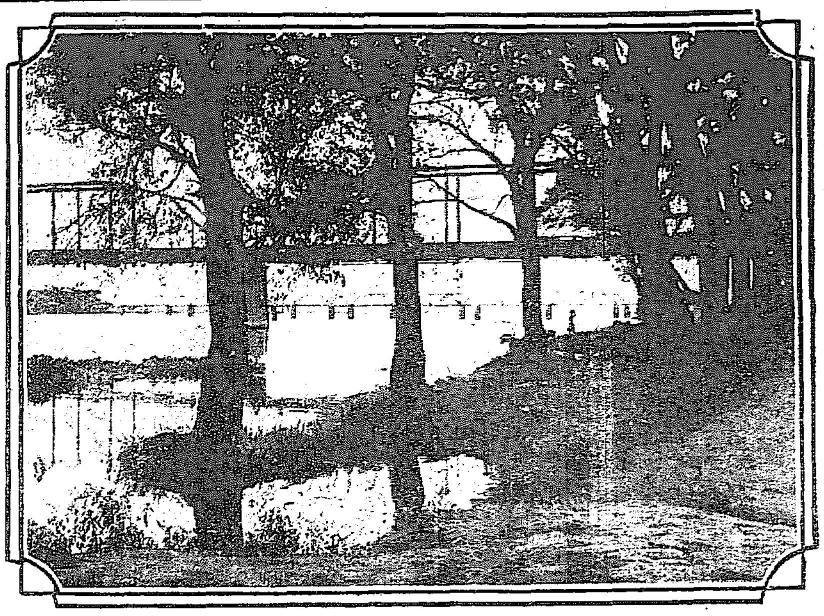
灌漑用水を得るに困難なる土地のみなれば降雨量尚ほ不足にてありしが去る二日夜及び三日の兩度相當の降雨ありたれば殆んど全部の挿秧を完

極力之れが奬勵に努めつゝありし結果漸次隆盛を來し成績大に見るべきものあるに至れり例へば是れを本年春蠶飼育狀態に見るに原蠶紙の配

增大し來り其の共同販賣石數も昨年度の五十石に比し十餘石を增加し六十餘石を示し其の他自家用若しくは個人別々に販賣したるもの數ふれば

にして殊に優[illegible]め優良品は石九十七八圓てふ空前の高値を以て取引せられたる有樣なるを以て益進歩[illegible]には蠶業事業の有

◎大工仲間の喧嘩　府內[illegible]青山惣太郎方に於て去る二十九日夜集合せる大工中杉山政男（三）渡邊德重（二）の兩名は言語の行違ひより喧[illegible]めし以て兩名負傷四週間を要すべく杉山を引致取調中


◎◎◎ 綠蔭の鐵橋 ◎◎◎

◎前清皇室の迷惑
さこそさ察せらる＝復辟は張勳の強請に出づ＝責は黎氏に在り

東京駐剳支那公使館附武官　陸軍少將岳開先氏談

張勳氏の復辟騷擾に關し急遽歸國を命せられたる東京駐剳支那公使館附武官陸軍少將岳開先氏は八日午後九時南大門驛通過北行せり氏は往訪の記者に語つて曰く北京に起れる今回の復辟動亂は其の名前清皇室の復辟なれども之れ其の表面を繕へる一種の名目に過ぎず前清皇室の人々即ち宣統帝以下の皇族の希望に出でたる

◎事件に非ざる事は勿論なりそれのみならず此の騷亂に由り清皇室の蒙りたる迷惑の一方ならざる事は察するに餘りある處なり聞く處に由れば傅倫貝勒は復辟に反對したるを以て張勳の部下の手に殺害せられたりとの事なれば如何に張勳が此の問題に關して清室を壓迫したるか推して知るべきなり張勳は新らしき政治家に非ず何處までも新思想に反抗するに非ざれば自家の勢力を維持し能はざるを以て

◎久しき以前より清朝復辟を唱道したる人なり此の張勳の野心を見越したる前駐支獨公使ヒンツエ氏は獨支國交斷絶及び我國の對獨宣戰等の氣勢切迫するや屢々張勳と內密の往來を爲し其の愈々支那を去るに當つては張勳の邸に宿泊し莫大の金員を張勳に托したる等の噂さへ傳へられ且つ張勳と其の家族及び其の周圍に在る有力なる獨逸人等の關係より見て今回の復辟事件の

◎發機は此の邊より起りたる事は察するに難からざるたり此の事變に由りて多大の迷惑を蒙りたるは實に清皇室なるが既に清皇室が復辟の野心等は毫末もなく唯張勳より強請せられたる事明白となりたるを以て今後前清皇室に累を及すが如き事は非ざるべし清皇室には今や大なる政治家もなく武力を有する英傑もなく皇室は全く政治的野心を絶ち

◎歷朝興亡の跡を見て清皇室のみ其の終りを善くせる事に傾る滿足し徐ろに歷史と餘榮とを維持され居る故に決して復辟野心等有るべき筈なし張勳の軍は段軍の爲めに擊破され其の運命も略定まりたるものゝ如くなるが例令張勳一時の勝を制したりとするも清朝の復辟到底完全に實現さるべきものにあらず何んとなれば漸くこゝまでに進步し來れる

◎支那の政體が再び逆轉すべきとは思はれざるを以てなり要するに今回の如き事變を惹起したるは全く其の責前總統に在り黎氏は張勳と共に今や全く其の聲望を失墜したるものと見て可なるべし之れに反し段祺瑞の聲望は隆々たるものにて今後の時局は必ず段の手に依つて搭收せらるべしと豫測せらる李經羲の如きは既に其の政治思想餘りに舊套にして

◎之等の人の起たんとしたるは黎前總統が其方針を誤り段祺瑞を罷免して禍亂を抱懷する張勳を招來したると同一の政治的一大錯誤と云ふべきなり

◎東宮殿下關門御通過
盛なる市民の奉迎

山陰道御見學を終へさせられたる東宮殿下には八日朝關門海峽御通過の御豫定なれば

◎關門兩市は午前七時門司側は谷口福岡縣知事下關側は林山口縣知事を始め關門兩市長市名譽職員會社銀行員等は數隻の滿飾を施せる汽艇に分乘し港內碇泊汽船及孰れも滿船飾を爲して奉祝の意を表す、斯て八時ともなれば供奉艦安藝先導し御召艦香取續て

◎其雄姿を現はし關門兩市よりは盛んに煙火を打揚ぐ。かくて御召艦は關門兩水上署汽艇を先驅とし徐々に海峽へ進行し來り奉送汽艇之に隨ひ壯觀を呈す此の日前夜の豪雨歇みたるも朝霧深く關門の天地を覆ひたりしも漸次薄らぎ

◎旭光麗かに照り渡る殿下には香取の後部橋の船橋に立たせられて委員の御說明に依り左右を指差され關門兩市を眺させられ早鞆海峽に差蒐るや門司に於ては門兩小學校生徒海岸に並ひに小國旗を持て堵列し下關重砲兵隊は

◎山上に堵列し奏樂を爲して奉迎せり斯くて殿下には同八時三十五分無事關門御通過四國に向はせられたり（門司特電）

◎飛行機にて蕃人を攻擊

臺灣新竹廳の蕃人を飛行機を以て攻擊するに決し操縱者及び飛行機數臺を現場に向け輸送せり（東京特電）

◎六百人が熱心に從業
最近に於ける明治神宮御造營工事

最近に於ける明治神宮御造營の模樣を知るべく內務省の造營局を訪うと高橋主事は語る『まだ外から望んだ處では工事の進捗を知ることが出來ないけれど潜在的には種々の方面に發展してゐる、本殿を建立しまつる

◎中心地點の基礎工事は既に七分通り完成を告げた煉瓦を積みコンクリートを敷き、其の上に土を盛るのが此の基礎工事である、材木工事と稱する御用材の製材は約三分通りを殘すのみとなつた、これは昨年の五月から著手したので、木曾山並に臺灣の

◎阿里山から皮附の儘運ばれて來る五千本の檜を柱、角材等に仕上げるのである、參道工事は本年の四月から鍬を入れた許りであるが、既に六分通り竣工し土壘工事は昨年十二月に著手しまだ二分通りしか出來て居らぬ、參道は內苑內の分で土壘は石垣を築き、其の上部に芝生の丘を盛り樹木を植ゑるのである、石材の購入は先月から手を染め

◎今正に本殿の屋上を葺く檜皮の買入に著手せんとしてゐる、第二期の割當にある玉垣の建設も近く眅始の筈で、全國からの献木は十萬以上の內凡そ五割弱集まつてゐる、御造營は大正四年から六箇年繼續で大正十年の三月迄に全部竣工の豫定である、そして大正四年度以來日々六百人、少ない時には三百人の土工、植木職、大工、木挽等が精出してゐる、これ等の職人は

◎何れも身元調査の上で就職せしめる、大切な御工事のことゝて從業者の苦心と心配とは一通りでない』と、此の談話中の參道以外、內苑と外苑とを連結する裏參道並に外苑前の表參道は阪谷男爵が東京市長時代市に於て擔任工事すべきを決定したが、まだ豫算も設計も確定せずその儘になつてゐる、

◎外苑の責任を負へる明治神宮奉賛會の高雄主事はいふ、『本會は大正四年四月九日創立を告げ、昨年九月十六日財團法人に組織され、昨年一杯は殆ど寄附金募入のため他を顧みる餘裕が無かつた外苑の設計は工學博士伊東忠太氏並に工學士池田稔氏に囑託して製圖されてある、芝地、殖林を繞うて美しい道が作られ葬場殿跡以外、東洋一の運動場、繪畫館、噴水、音樂堂等が設けられる、尚ほ

◎大井の伊藤公邸に在る恩賜館を苑內權田原口寄に移す等で、既に著手の運びになつてゐるが此他の工事萬端は萬全を期するため內務省に委任する積で、同省の引受準備完成を待つてゐる、今度の臨時議會にその提案がある筈で、無事に通過すれば四百萬圓の淨財を必要に應じて內務省へ分割送附する運びになるのである』云々、しかし

◎奉贊會の事業としてはまだ年賦寄附の募入が大正八年まで殘つて居り、また繪畫館の建築は內務省に委託するが、先帝御歷代の御治積を繪畫に示して陳列する內部の仕事が同會の肩に懸つてゐる、然も此の畫家選定が非常な困難で外の事業と選を異にするだけ、圓滑に運ぶやう今から既に頭を痛めてゐるとのことだが、或る消息通に聞くと人物を得意とする大畫伯が必要だが正木美術學校長が

◎嘗て試みに數へた處選に入る者は十名位である、然も永久に保存さるべき畫家の一大名譽とて不平を唱へる畫家も出來るだらうしこれは將來にかゝる美術界の大問題でなければならぬ（東京）

◎スミス氏臺灣から歸る

渡臺飛行中の鳥人スミス氏は八日朝基隆より門司に入港の郵船信濃丸にて歸來同船にて海路東上せり臺灣にては臺北を始め四箇所にて飛行したるが成績良好なりき（門司特電）

◎大阪市民塵芥攻めに遭ふ

大阪市の掃除人夫三千名は賃銀の割增しを要求して容れられざるより同盟罷業を爲し市民は塵芥攻めに遭ひつゝあり（大阪特電）

◎日鮮人合同して積儲の老後を慮む

二十餘年前時の韓國[illegible]の名譽れなかりしも爾來其職を辭し目下忠南保寧郡[illegible]に隱遁しある申[illegible]氏は今年正に八十四歲の高齡に達したる[illegible]最近全保寧郡守[illegible]數氏が發起となつて申氏の老後を慰安する爲め任意の醵金を募ることゝなつたが鮮人間には權士として尊敬されつゝある申氏の事であるから各方面からの申込意外に多く期せずして七百餘圓の多額に達した[illegible]長官も其擧を賛して若干の菓子料を贈つて來た外に[illegible]在住の內地人が發起で賛意を表し夫々應分の申出をしたのは特筆すべき事たるを失はぬ斯くして得たる金員は發起人に於て保管し每月一定の額を申氏に贈るべき次第であるが申氏は老後の自分に對し斯く迄に日鮮人合同しての[illegible]は偏へに我國[illegible]陛下御治政の賜に外ならぬと知友に向つて感謝の涙を流して居るといふ事である

◎生活難から妻子を殺害す
自分は煙草を喫みながら悠々割腹す

大阪府泉北郡[illegible]井町和田彌吉方野村善吉（三三）は生活難の爲め八日午前五時內縁の妻やす（三七）の咽喉部と腹を刀にて突き刺し其の上兵兒帶を以て首を絞めて絶息せしめ續いて長男芳雄（四つ）の咽喉部を刺し之も亦兵兒帶にて絞め殺し妻子の屍骸を眺めながら煙草を喫み悠々切腹せり（大阪特電）

◎口論から露顯

全北錦山郡南一面[illegible]里金松根妻吉姓（[illegible]）は松根の出稼ぎ不在中夫の實弟金有吉（[illegible]）と關係したる結果大正四年十二月二十一日女兒を分娩したるも世間體を恥て兩名共謀して嬰兒を殺害し其屍體を打過ぎたる內本年六月下旬有吉姓女と有吉の妻村姓女とが畑仕事中口論をなし嬰兒殺の一件を饒舌し居る所に通りかゝりたる錦山分隊の憲兵に探知され兩名を引致取調べの結果包む由もなく自白するに至り身柄は裁判所に送られたり

◎船夫一名溺死　江原道通川

郡鶴山面蛤津里成澤組所有船が數日前元山より木材六百八十二本を西湖津へ運搬の爲め出航せしが途中虎島前海津里沖合にて風波の爲め難破し二名の船夫は梯子を持ちて海中に飛び込み內一名は上陸せしも一名は風波の爲め行衛不明となりし由にて積荷は村民の應援にて幸くも無事なるを得たりと

◎猛獸に襲はる

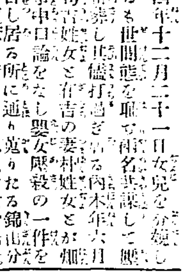
去る三十日夜咸南浦項洞鐵道事務所附近の部落に猛獸現はれ鮮人の飼養せる大豚一頭を浚ひ之を同所より三十間を距てし畑中に於て喰ひ骨皮と臟物を殘し置きしを翌朝に至り鮮人が發見して騷ぎ出したるが猛獸は何物とも判明せざるも畑に印せし足跡の[illegible]寸五分乃至四寸位なるに見れば餘程の大獸なるべく豹か或は虎の類なり

◎夫を石で亂打　江原道淮陽

郡長揚面三億里金致奎（[illegible]）妻宋氏（[illegible]）は常に不和の間柄なりしが六月八日夜宋氏は熟睡中なる致奎の前頭部を石にて亂打し深さ骨膜に達し治療一箇月を要する重傷を負はせたるも抵抗されて果さざりしこと淮陽憲兵分隊の探知する所となりて取調べの上檢事局へ送らる

取消

拜啓去る七月七日貴紙三千九百二十[illegible]



旅行用具　東京製鞄類　魔法瓶

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版・亞鉛版　[illegible]　京城日報社　寫眞製版部

紹羽織地　黒石持◎茶◎縞特價　現品場の二割安提供　龍山元町　こまや　植西呉服店　電話四二八

胃腸最新藥　ヂゲスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患食慾不進重病後の恢復期營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町　[illegible]商店　合資會社　圓城商店

最新刊

書名	著者	定價
◎ABC引一大辭典	井上博士	一、二〇
◎改正手形法論	青木徹二	一、三〇
◎改訂增補・國家爲替	水野正也	一、〇〇
◎農村社會學	小河滋次郎	二、五〇
◎國民物理學	日下部四郎太	一、八〇
◎新訂六法全書	有斐閣發行	特製一、八〇
◎債權各論分冊ノ一	末弘嚴太郎	一、七〇
◎化學的食物研究	[illegible]	一、〇〇
◎日本溫泉案內	[illegible]	九〇
◎教育と圖書館	植松安	七五
◎歐米新思潮	鈴木紀一郎譯	一、五〇
◎南洋西ボルネオ	多田惠一	一、二〇
◎和歌講話	若山牧水	八〇
◎逆主義研究講話	[illegible]	一、二〇
◎現代日本文章軌範	內田舜	八五
◎カラマーゾフの兄弟上	米川譯	一、三〇
◎離合	谷崎精二	一、〇〇
◎人生の快樂	吉田潔	八〇
◎野球年鑑	大阪朝日新聞	四〇
◎十五代將軍	[illegible]	一、二〇
◎新西洋季節料理	松尾	一、〇〇
◎水泳名手となるまで	諏訪多宮崎	三八
◎支那の眞相	[illegible]	一、七〇
◎進むべき道	南文雄	一、三〇
◎新譯韓非子	野中元三郎	九〇

京城本町一丁目　電話[illegible]　振替京城一五七三番　大阪屋號書店

秘密を守り丁寧に精々高價御預り可申候也　京城北米倉町三六（日本人會前小路）　電話二八五四番　櫻谷質舖

御待兼の大寫眞上場
世界的名優ハーバート、ツリー卿の演じたる天下一品の傑作

公開		
七月十三日	金曜	三日間限　日延べなし
七月十四日	土曜	每日二回（晝午後一時から　夜午後七時から）
七月十五日	日曜	

勿驚！二百萬圓の文藝大寫眞
タツタ五拾錢で見られる！！

▽ロンドンにて最低二磅、ニユーヨークにて最低十弗、東京帝國劇場にて五圓の觀覽料を以て公開せり

英國大文豪沙翁晚年の大著
史劇マクベス　全九卷

◎活動之世界曰く『名優出演の活動寫眞劇で、餘りに成功したものはない樣だが、此の「マクベス」許りは、追にツリー卿の百錬百磨の功に成るものだけ、何れの場面にも眞に人を魅するものがある、殊に其演出法の新し味こ。場面變化の工夫とに於て本邦劇界に對する絶好の參考品であり、又沙翁劇研究者にとつて稀世の寶典珍什である、一般の人々にも如何にマクベス劇が名作であるかと云ふ事を興味中心的に撮影されて居るので、非常な人氣を博した

說明者
東京小林商會辯士長　黑澤松聲
有樂館主任辯士　南鄉公利
早川演藝部客員辯士　久世春濤

觀覽料

等級	大人	軍人學生
一等	二圓	四十錢
二等	一圓	二十五錢
三等	五十錢	十五錢

十二歲以下の御子供衆は入場御斷り申候　但し御同伴は御隨意に候

東京小林商會滿鮮一手代理店
米國ユニヴアーサル會社特約
早川演藝部直營
電話二〇五。五九七番
有樂館

花筐 (四九)

松田竹の島人作

早見謙吉は、今では何んの收入もないから、著書で生活費を取らうと思つた。帝國大學で修めたのは政治經濟であつたから、會社論を書いた。其出版に就き、書店との交渉を大森へ依頼したのであつた。

何處かの書店と相談が纏まつて、幾らか原稿料を大森が取つて來てはゐないかと思ふたし、荒物屋の主人が、惡辣に部屋代の催促を爲たことが憎くかつたので、大森の一喝を喰さると思つたから、嚴しい催促を受けたことを語つた。

大森はスパリ／＼と敷巻煙草の朝日を吹かしながら、

『多分然うだらうと思つてゐたのだよ』と言つて、其圓い眼で、皆視と主人の顔を見た。

『途什麽も困るもんですから、戴かうと思ひましてね。』

荒物屋の主人は、大森を怖れてゐる故か、幾らか督促の鋒先を鈍らせた。

『ねエ亭主、今月が經過したら、今月分の部屋代を督促する權利はあるが、未だ經過もしてゐないのに、然う嚴しく催促するのは餘り酷ぢやないか。』

『でも一と月前に戴くといふ約束ですのに、今日まで遲れてるのですからねエ。』

『早見から聞くと、外へ移轉してくれとお前はいつたさうぢやないか？』

『其先部屋代が滯つちや困ると思ひましたから、然ういひましたが、それが什麽したんです。』

荒物屋の主人の言葉は、少し強く爲つて來た。

『そりや餘まり早見を侮辱した言葉だ。立退料を寄來さん以上、何時までも早見に此處に居らせるからな。』と大森は言つて、朝日の煙を吹く、荒物屋の主人は、立退料と聞いて眼を圓くした。

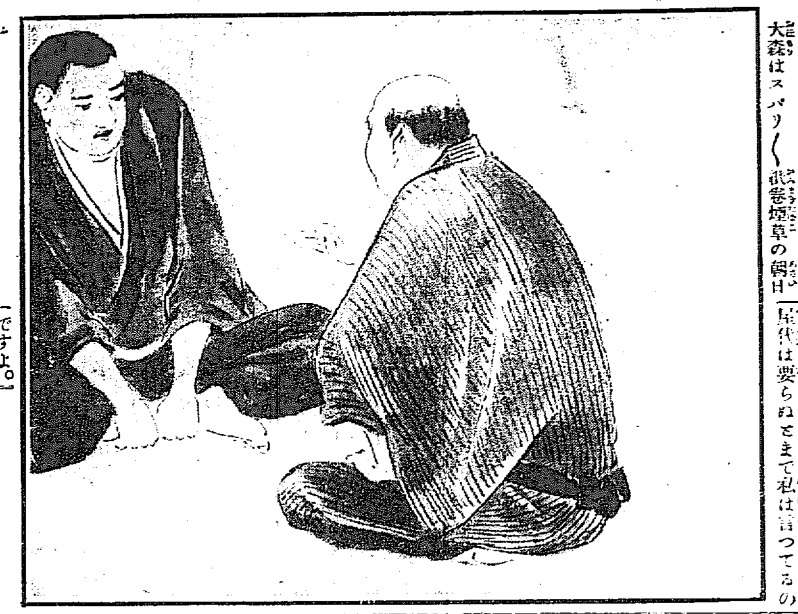
『立退料を寄來せなんて、貴方がたは酷い人達だ、早見さんに、外へ移轉して貰うに就いては、今月分の部屋代は要らぬとまで私は言つてるのですよ。』

『第一貴樣は、這麽不潔い二階を貸して、其料金を取らうといふのが間違つてるのだ。』

『それぢや何故早見さんは、不潔い二階を借りました、借りといて、今更部屋代が拂へないもんだから、其麽因縁を付けて、眞個に酷い人達だ。今迄隨分二階を貸したが、お前さん達見たやうな人には、初めて出ツくはした。』

荒物屋の主人が、遠慮會釋もなく鋭く言つたから、大森は怫然として腕を捲りつゝ、

『貴樣は實に失敬なことを言ふ奴だ。それぢや吾輩が、此二階の不潔な理由を言つて聞かせるが、吾輩が二三日前此處に來て、餘り暑かつたもんだから、裸體に爲つて、此柱に』と正面の柱を指さして、『寄ツかゝつてゐると、背中がチクリ／＼爲るから、變だなと思つて、柱を能く見ると、割れた中に何にかゐて、螫したのだ。其螫した奴を何んとか征伐して遣らうと種々智嚢を絞つた末、狸を松葉燻しに爲ることから考慮へついて、煙草の烟を柱の割れ目へ吹き込んで遣つたのだ。然うすると驚く勿れ、中から南京虫が三疋這ひ出したぢやないか……こら亭主能く聞け、早見は此二階が不潔いけれど、正可南京蟲までゐやうとは知らないで借りたのだが、嘘と思ふなら、早見の手や足を見てみろ、毎晩其襲來に由つて、喰はれた跡が恰かも湿瘡でもかいたやうに爲つてるぞ。早見を其麽酷い目に遇はせて置きながら、部屋代が約束より少し延びたからといふて、外へ移轉せだの、何んだのと酷く言はれた譯のもんぢやあるまい。ねエ亭主、貴樣も人間の皮を冠つて、不出來ながら人間らしい面を爲てゐる以上、少しは人情といふものを有てゐてくれ。』



牛乳 朝鮮衛戍病院御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

半ゑり 帯あげ 帯しめ 帯 片側帯 京城旭町一丁目 ゑり治商店 電話二五六二番 年期刺繍弟子十五名募集

□一日一句

持ち來た麥花選り捨てし清水かな　浩一郎

土と割けて牽牛花の芽生かな　白紅

並木町より我家も見ゆれ里若葉　瀬村

山羊乳 諸官廳御用達 京城南大門東側 山羊牧場 電話一七七二番

◎對座吟 一六、七、四—於星二樓居

梅雨　　　　　　判

梅雨闇りを知ゐ蔵館の鑑定哉　女

叱られても叱られても子等に梅雨晴るゝ　同

お國自慢に大蛇も出てゝ梅雨晴る　同

暫しがてに梅雨谷の殘す一首かな　同

姉が鏡の甲斐／＼しう梅雨明りせる　同

古酒酒りも碁たきを梅雨明れて　同

鮮屋の天井低う梅雨を住む　星二

隣邦を如何など論談梅雨滋げ　同

獨房や酒古る甕に梅雨名殘　同

梅雨世界我は此一小詩に生けり　同

梅雨明り欲紗捌きも音低う　同

新刊紹介

▲亞細亞時論(創刊號) 大亞細亞主義を標榜し大戰後列強の經濟的爭覇戰の焦點たらんとする支那諸問題の解決に努むると共に印度問題、太平洋問題、南洋問題、其他對外諸問題の研究を目的として生れたるものにして時論門の亞細亞主義に就て(吉村源太郎)海上國防の原理(佐藤海軍中將)資料門の支那に於ける重要新聞(隅川釆人)の對支活動(杉浦和介)說苑門の中央亞細亞問題研究の必要(長瀬鳳輔)印度の近情(永□獨人の對日論(森孝三譯)評論門の臨時外交調査會問題、支那時局問題、米國の對支干渉問題等を初め猶通信、時報、談叢、文藝、史傳小說等の各部門見るべきもの多し(三十錢東京麻布笄町五五亞細亞時論發行所)

▲朝鮮公論(七月號) 李王殿下の御東遊に就て新附同胞に告ぐ、原、犬養、伊東の三角同盟か(大石正巳)鮮滿兩鐵道の併合と鮮滿兩地に於ける經濟的影響如何、朝鮮の開發と三大航路問題(持地六三郎)朝鮮の財政經濟と今後[illegible]

▲新東洋(七月號) 先月創刊號を出し以來好評忽ち嘖々たり本號には戰爭は何故に擴大するか(前駐米英大使ブライス子)英國の[illegible]、柳宗悅、英國人の常識(菊地男)日支兩國の親善(青柳博士)男女兩性の相違に就て(シュレーナー)其他を依例日英兩文にて編輯せり(五十錢東京麻布市兵衛町二の一二)

▲大阪銀行通信錄(二三八) 五月大阪東京及び全國各地金融狀況、正貨處分と爲替調節問題、戰時所得の強制徴集策、外國爲替上に於けるグレシャム法則の[illegible]、現及び再び米國財政の推移、英國戰時財政當局[illegible]組談話を掲載せり(二十五錢大阪北區中之島一の二八大阪銀行集會所)

▲電氣化學(七月號) 引續き戰後の京城電氣化學工業の發達に就て、電氣冶金工業に於ける電力問題、電氣暖房法に就て[illegible]其他を收む(三十錢東京麴町[illegible])

讀者の領分

▲五道踏破記者李君の通信は面白く拜見致居り候へ共地方の重なる都邑の模様より尚李君等の餘り知り得ざる村舍鄕の狀態に就いて詳細なる通信を望ましきものに候隨分酷れたる面白き事も可有之と存候如何のものにや(高陽生)▲本町は京城の最も繁華な町だから人通りの多いのは當然なことだが、通る人も落付いて買物もすべし立止つて見物もすべし但しこれは徒歩の人のことである若し其れ自轉車人力車等の乘物は大に遠慮すべし況んや乘馬に於てをや之を要するに本町は徒歩主義の大道にしたいものだ(散歩好男)▲京城程の都會で往來の暗いことは如何ですか電燈瓦斯は專賣となつて利益も多いことでせうからもう少し街燈を公共の爲めに寄附されては如何でせうか。姿共は一寸買物に出たいと思ひましても夜分は全く外出が出來ません婦人の夜間外出は何とか仰せらるゝ方もありませうが家庭の事情にて夜分でも外出せねば出る暇のない方もありませうと思ひます横町は兎も角大通りだけにても最う少し明く願ひたいものです(子持女)▲潔癖生君の御觀察通り鮮人家屋の便所には折角の蓋がない爲めに時々實に醜汚な所を見せらるゝことがあります又往來に面して便所の口を開けて置くのは何の譯でせう(同感老人)▲小學生徒は校庭では體操などをして大變規律正しいけれども放課後自宅への途中を見ると三々五々群を爲し艶はだらしなく肩に掛け下駄を引ずり帽子を阿彌陀に被り路傍の犬を追ひ軒上の猫を驚かし石を投じ高聲に放歌しそれも思ひ切りたる惡太郎なれば惡太郎で却て宜しけれども如何にも不活潑不規律の態度に見ゆるは彼等の肉體上にも精神上にも決して善い結果は齎すまいと思ふ登校及び歸宅の途中も校庭に於けると同じく活潑に規律あらしめては如何歸宅の後遊びに出づるは別問題である敢て小學校教員諸君に問ふ(門外漢)

大連より啓上

通信員

五日[illegible]

信託專務取締役神成季吉氏上京中に有之候が滿洲に於ては現下の情勢上支那商人は勿論日本商人の立場として[illegible]他の取引[illegible]何等の影響あるものに非ず而して現在の如きは唯徒らに取引を[illegible]ならしむるのみにして[illegible]の論一部の間に有力なるのみならず大連商業會議所の内にも此種の說行はれ[illegible]商業會議所の意見として金建[illegible]しめたる次第なるが若し愈々金建採用に決するが如き雲行あらば更に其反對運動を起さんとの下心と見受[illegible]慰安所を新設し新聞雜誌の閲覽所は勿論浴場、理髪所、碁將棋等の娯樂室等を新設し日用品販賣所をも設[illegible]待し右の主旨を[illegible]して賛成を求め居り申候、船成金の多き今日此の寄附金は容易に募集し得べく[illegible]

總計七萬二千百二十四斤此買入金額四萬四百三十一圓四十五錢内並布十三萬五百二十八斤價額百斤最高二十[illegible]六百三十一斤銀杏草の[illegible]千三百十八斤等なりと▲出入貨船 六月中木浦港出入貨物噸數は輸移出四千七百十七噸輸移入二千五百八十六噸[illegible]

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... Y 1.40

MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... Y 1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

本邦及英米國政府 專賣特許 滋養强壯料 肝油ドロップス

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして容易に消化吸收せらる

◎複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用 五歳以下 一回一顆乃至二顆 十歳以下 一回二顆乃至三顆 十五歳以下 一回三顆乃至四顆 大人 一回四顆乃至五顆

用法 菓子の如く食すべし、又は湯茶に溶かし或は噛碎きて服用するも可なり

定價 五十顆入 金七十錢 百二十顆入 金一圓四十錢 複方百顆入 金一圓四十錢

肝油が一般の虚弱者、結核性素質者、滋養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對して滋養劑として、其特效の卓絶せることは、内科、眼科、小兒科等の專家に處方せられ、其服用を嫌忌せらるゝも、然れども肝油の臭味不快なる故に、[illegible]、河合氏多年苦心の研究の結果、肝油ドロップスを創製し、可溶性の含有素物を基礎とし、肝油の精良を完全に含有して、極めて細密、美味無臭にして、而して、合理的調製し得る所以は本品の服用に便にして携帯に便、[illegible]

(現品縮寫圖)

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顔の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が粗くザラ／＼してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の引立て痩せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頬が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顔や手先きを滑こくし度い人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、發育不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器病
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

本舖 ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元

▲賣捌‖全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋 登錄商號 ◎ 丸見屋商店

電信略號 ○ミヤ……振替口座東京七一〇番 營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

日本郵船仁川出帆
○大連行 太沽(天津)牛莊行
相模丸 七月廿六日正午出帆
高砂丸 七月十五日正午出帆
三河丸 七月　日正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○君が代丸 七月　日後四時出帆
○大有丸 七月　日後四時出帆
○秀吉丸 七月　日後四時出帆
神代丸 七月十一日後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路
第廿共同丸 七月八日午後入港 七月十日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 春日町(電話二四四番) 田口回漕部
元山代理店 南大門(電話二六八、二〇一) 河村運送店
京城取次店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 七月十二日後五時出帆
○和歌浦丸 七月廿三日後五時出帆
○立神丸 七月廿二日後十時出帆
元山、清津、浦鹽行 七月十一日後四時出帆
○和歌浦丸 七月十一日後四時出帆
○立神丸 七月　日後六時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三三番
鐵道院局及其他外鮮各地運輸店荷客取扱店に御照會あれば詳細
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話一七〇番
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
×京畿丸 七月廿四日
×忠淸丸 七月十四日
成鏡丸 七月十九日
柳川丸 七月九日 釜山發
○元山より各地經由雄基行
鏡城丸 七月十一日
三城丸 七月十五日
浦城丸 七月九日 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平壤丸 七月十四日 元山發
○元山長箭間
成鏡丸 七月九日
柳川丸 七月十九日
永興丸 七月二十日 元山發
○釜山元山間
慶尚丸 月　日 釜山發
○鬱陵島行 浦項及各地經由
盛德丸 七月九日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月十三日 釜山發
○麗水行(各地經由)
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸
○木浦麗水間×印のみ麗水にて釜山行接續
×順天丸
南陽丸 三日目毎に 木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
西廻 公州丸 七月十日
東廻 慶興丸 七月十七日 木浦發
○多島海各島行
金海丸 七月十二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晋州丸 七月九日
麗水丸 七月十三日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 七月十三日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸
錦江丸 毎日 仁川發
但し三十一日は休航